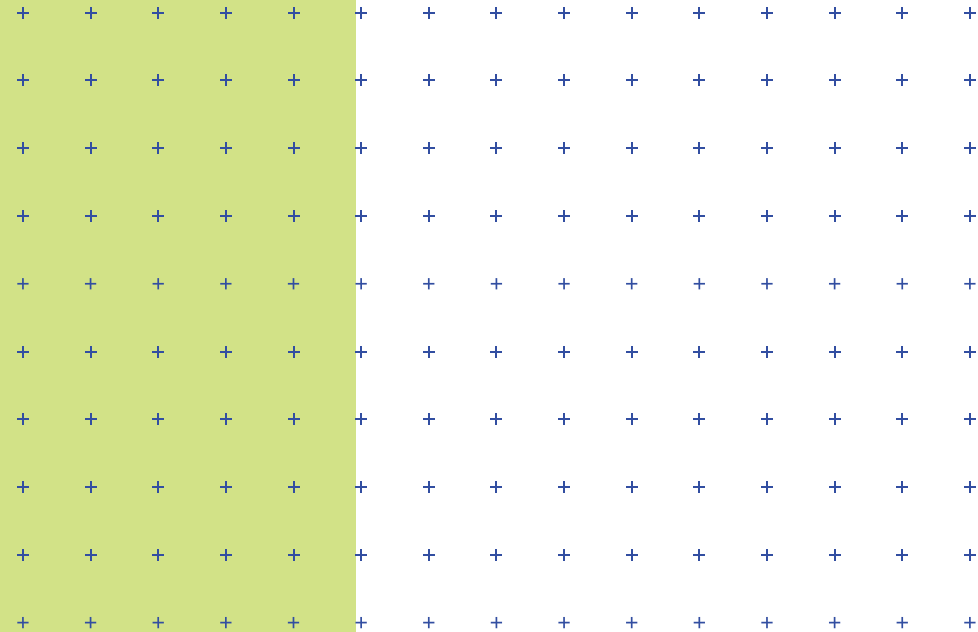
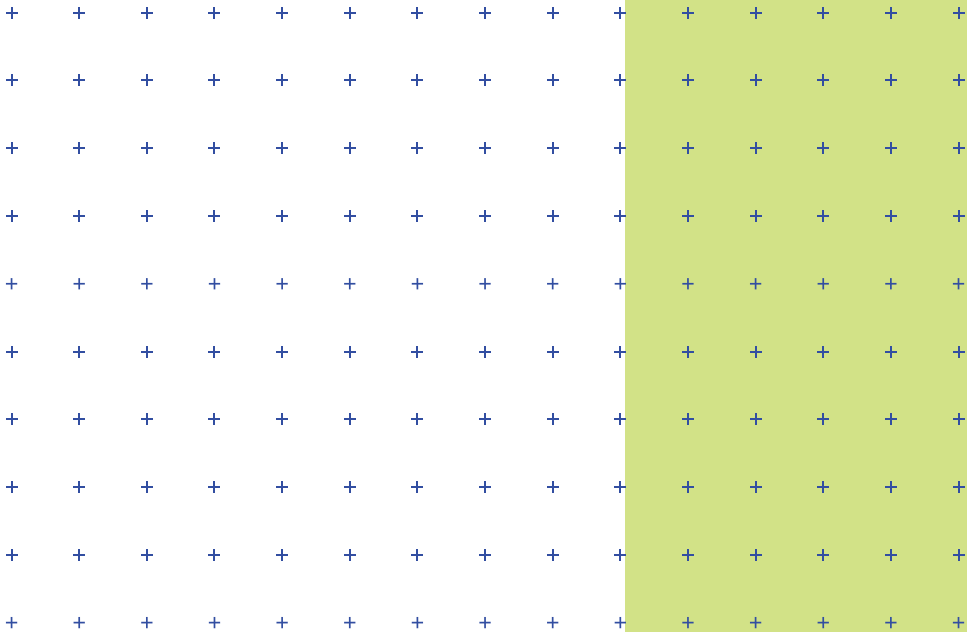


入試ガイド 2025



神戸芸術工科大学
KOBE DESIGN UNIVERSITY

〒651-2196 神戸市西区学園西町 8-1-1
TEL : 078-794-5039 (広報入試課)
FAX : 078-794-5027
進学相談フリーダイヤル
☎ 0120-514-103 (平日 9:00~17:30 / 土曜 9:00~17:00)
nyushi@kobe-du.ac.jp
www.kobe-du.ac.jp



神戸芸術工科大学
KOBE DESIGN UNIVERSITY

入試ガイド 2025 目次

2025年度 入学試験概要

募集学科・入学定員	1	留学生選抜Ⅰ期／Ⅱ期	29
アドミッションポリシー	2~3	編・転入学選抜Ⅰ期／Ⅱ期	30~31
入学試験 日程一覧	4~5	帰国生／社会人選抜	32
エントリー/出願資格・募集人員	6	受験に関する注意	33
提出書類	7	持参作品等について	34~35
出願資格/提出書類 (外国の国籍をもち、外国の学校を卒業(見込)の方)	8~9	その他	36~37
エントリー/出願の流れ	10~13	Q&A/アクセス	38
総合型選抜Ⅰ期 <体験型>	14~17	スカラシップ試験奨学生	39
総合型選抜Ⅱ期 <面談型>	18~21	新入生特待生・資格特待生・高等教育の修学支援新制度	40
総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <作品持参型>	22	奨学金・授業料減免制度	41
総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>	23~25	提携信販会社教育ローン/初年度に必要な機材・用具/ 学生専用マンション/下宿案内	42
総合型選抜Ⅳ期/一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	26~27		
一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	28		

2024年度 入学試験問題解答例

鉛筆デッサン	44~45	学力試験(英語)	63~65
小論文	46~47	学力試験(国語)	66~73
イメージ表現	48	学力試験(数学)	74
基礎学力試験(英語)	49~51		
基礎学力試験(国語)	52~60		
基礎学力試験(数学)	61~62		

2024年度 入学試験結果

2024年度入学試験結果	75	志願者高等学校一覧/出身学科/出身地 2022年度~2024年度	76~77
--------------	----	-------------------------------------	-------

この入試ガイドの情報は2024年3月現在のものです。掲載内容は変更となる場合がありますので、入学試験を受験される方は、2024年7月頃に大学ウェブサイトにて公開予定の「2025年度募集要項」を必ずご確認ください。

募集学科・入学定員

●対象入試:全入試区分(ただし、編・転入学選抜における3年次希望を除く)

学部	学科	コース	定員
芸術工学部	建築・環境デザイン学科 *	まちづくり・ランドスケープコース	100
		建築・リノベーションコース	
		商空間・インテリアコース	
	生産・工芸デザイン学科 *	プロダクトデザインコース	100
		ファッション・テキスタイルコース	
		クラフトコース	
	ビジュアルデザイン学科 *	グラフィック・コミュニケーションデザインコース	100
		WEB・デジタルデザインコース	
		エディトリアルデザイン・イラストレーションコース	
	メディア芸術学科 *	まんが・コミックイラストコース	100
		映画・映像・アニメーションコース	
		CG・ゲームコース	

*:募集単位(学科ごとに募集、入試時コースの選択は不可)

●対象入試:編・転入学選抜における3年次希望

学部	学科	コース	定員
芸術工学部	環境デザイン学科 *	リノベーションコース	若干名
		建築コース	
		ランドスケープコース	
		まちづくりコース	
	プロダクト・インテリアデザイン学科 *	ユニバーサルデザインコース	
		インテリア・家具・木工コース	
		プロダクト・カーデザインコース	
	ビジュアルデザイン学科 *	グラフィックデザインコース	
		エディトリアルデザインコース	
		Web・モーショングラフィックスコース	
		イラストレーション・絵本創作コース	
	映像表現学科	デジタルクリエーションコース *	
		映画コース *	
		アニメーションコース *	
	ファッションデザイン学科 *	ファッションデザインコース	
テキスタイルデザインコース			
ファッション企画コース			
アート・クラフト学科 *	絵画コース		
	フィギュア・彫刻コース		
	美術教育コース		
	ガラス・陶芸コース		
	ジュエリー・メタルワークコース		

*:募集単位(学科ごとに募集、映像表現学科のみコースごとに募集)

※まんが表現学科の募集はなし

アドミッションポリシー【入試で求める人物像】

芸術工学部【対象入試：全入試区分(ただし、編・転入学選抜における3年次希望を除く)】

神戸芸術工科大学では、人間にかかわる関係諸学を総合的にとらえ展開する「芸術工学」の教育・研究を通じて、広い教養、専門的知識、能力、技術とコミュニケーション力を備えたデザイナー、アーティスト、クリエイターを養成する。それにあたり、芸術工学部では、必要な素養(知識、観察力、論理的思考力、表現力、造形力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力)を持つ人やそれらを学ぶ意欲を持つ人物を求める。

- ・教育内容が理解できるための、基礎的な知識・技能を持っている。
- ・人間と社会全般に対する興味、関心を持っている。
- ・表現することに対する意欲を持っている。
- ・自ら課題を発見し、創造的に考え、解決、行動しようとする意欲を持っている。
- ・大学での学びをとおして、人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。
- ・特定分野で卓越した能力を持っている。

建築・環境デザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、都市からインテリアまでの多様な空間スケールを対象とする建築・環境デザインにおいて、都市・地域空間や生活環境などの質を持続的に向上させ、社会を持続可能な環境に変えていく力を身につけた空間デザイナーやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、多様な空間(環境)の創出・再生デザインのための基礎的知識をもとにリサーチからデザインを展開する力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・教育内容が理解できるための、基礎的な知識・技能を持ち、主体的に学ぶことができる。
- ・人々が暮らす環境・空間について幅広い興味、関心を持っている。
- ・多くの人とのコミュニケーションを通して、相手の立場に立ちながら自分の考えを構築し、表現する意欲を持っている。
- ・自ら学び未来を切り開く意欲をもち、社会や環境に対する観察力によって自ら課題を見だし、その解決に向けて柔軟に思考できる。
- ・大学での学びを通して、環境・空間のデザインを通して人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。
- ・建築・環境デザインに関する分野で卓越した能力を持っている。

生産・工芸デザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、デザインの思考力をもって解決することで人々のくらしを豊かにするデザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトにおける専門性と幅広い知見、技術及び表現力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・生活用品、電気製品、家具、雑貨、ファッション、テキスタイル、ガラス、陶芸、ジュエリー、フィギュアなどライフスタイルに関わるデザインやアートに興味関心がある。
- ・論理的に分析する思考力と豊かな発想力がある。
- ・鋭い観察力と芸術的な表現力がある。
- ・社会で起こっている事象に目を向け、社会貢献に関心がある。
- ・思考の異なる人と話し合い、コミュニケーションが取れる。
- ・新たな目標に向かい、計画的に事柄を進めることができる。

ビジュアルデザイン学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、時勢に対応する表現方法や伝達方法、横断的な発想や企画力を駆使し、ビジュアルデザイン分野における創造的な社会活動や芸術的表現を志し、デザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、グラフィック・コミュニケーションデザイン、WEB・デジタルデザイン、エディトリアルデザイン・イラストレーション領域におけるデジタルな手法と、古典的な手作業の訓練、専門知識と実践的能力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・グラフィック、広告、ブランディング、本、雑誌、Web、イラストレーション、絵本などに強い関心、興味を持っている。
- ・社会的事象や自然に対する優れた観察能力がある。
- ・論理的な批評・分析能力と、豊かな感性を持っている。
- ・周りの人との適切なコミュニケーションをとり、相手の立場になって考え、表現ができる。
- ・新たな時代を切り開くデザインや表現に挑戦する意欲がある。

メディア芸術学科

本学が掲げる芸術工学の理念に基づき、芸術的感性をバックボーンとし、最新技術及び構造的知識をもって、創造的な表現活動を通じて社会に貢献するデザイナー、アーティストやクリエイターを目指す人物で、カリキュラムポリシーに基づく、メディア芸術分野における専門性と幅広い知見、技術及び表現力を修得するための基礎的な知識、技能、意欲を持つ人物を求める。

●求める学生像

- ・まんが・アニメ・映画・CG・ゲームなどのメディア芸術に対する知的関心を持ち、懸命にその表現方法を学修していこうという意欲を持っている。
- ・メディア芸術の制作を通じて、主体的に多様な人々と協議し、学びを深めようとする。
- ・まんが・アニメ・映画・CG・ゲームなどを楽しむのが好きで、自分の鑑賞力や表現力を高め、いずれは制作活動や研究を行いたいという意欲を持っている。
- ・メディア芸術の制作を通じて、個人や社会に対する自分の考えを発信していきたいという意欲を持っている。

芸術工学部【対象入試：編・転入学選抜における3年次希望】

神戸芸術工科大学では、人間生活に最も適合する科学技術を発展させるため、人間の立場から総合的に科学技術を駆使する「芸術工学」の教育研究を通じて、人文、社会、自然の諸科学にまたがる芸術的感性と豊かな教養を融合し、人々を豊かにする総合的視野をもつ新たな表現に挑戦するデザイナー、芸術工学の教育研究を通して新たな時代を切り拓く創造性豊かな研究者や指導の実務を担うクリエイターの養成に必要な素養(知識、観察力、論理的思考力、表現力、造形力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力)や姿勢を持つ人を、多様な入試を用い、各学科・コースごとに選抜を行う。

環境デザイン学科

環境デザイン学科では、自然・歴史・社会・経済・文化などの多様な背景を持つ建築・ランドスケープ・都市・地域環境において新たな時代に呼応できる創造的構想力と表現力を持つ空間デザイナーやクリエイターを養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・人々が暮らす環境、建築やランドスケープなどについて幅広い分野への興味と好奇心のある人
- ・基礎的な知識と学力をもとづき、主体的に学ぶことのできる人
- ・自ら課題を見だし、その解決に向けて柔軟に思考できる人
- ・多くの人とのコミュニケーションを通して、相手の立場に立ちながら自分の考えを構築し表現できる人
- ・社会的事象や自然環境への関心をもち、自ら学び未来を切り開く意欲のある人
- ・基礎学力とともに、得意な分野における特に突出した学力をもつ人

プロダクト・インテリアデザイン学科

プロダクト・インテリアデザイン学科では、変化する社会のニーズを鋭敏に把握し、使う人々の心身の多様性を理解し、モノやコト、誰もが心地よく暮らせる空間をデザインできるデザイナーやクリエイターを養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・生活用品、電気製品、家具、雑貨などへの興味と強い関心のある人
- ・美しさ、楽しさ、心地よさを素直に感受し、自らも創造し伝えたいと思う人
- ・未来のデザインに活かすために、自然や歴史、文化を尊重できる視野の広い人
- ・自分や他者の「不満」、「不安」、「不便」を敏感に察知し、解決のために創意工夫する姿勢をもつ人
- ・他者や異文化との出会いを大切にし、社会に貢献することを楽しく感じられる人
- ・既成概念にとらわれず、未知の「モノ、コト」に興味を持ち、デザイン提案に挑戦する意欲のある人

ビジュアルデザイン学科

ビジュアルデザイン学科では、現代の情報社会で必要とされるビジュアルコミュニケーションにおいて必須となるデザインの表現技術と想像的構想力をもつデザイナー、クリエイターを養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・グラフィック、本、雑誌、Web、イラストや絵本創作への興味や関心のある人
- ・社会的事象や自然に対する優れた観察能力をもつ人
- ・論理的な批評・分析能力と、豊かな感性をもつ人
- ・まわりの人と適切なコミュニケーションをとり、相手の立場になって考え表現ができる人
- ・新たな時代を切り開くデザインや表現に挑戦する意欲のある人

ファッションデザイン学科

ファッションデザイン学科では、ファッションを通じて新しいライフスタイルを提案することができるデザイナーを養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・衣服・テキスタイルやファッションマーケティングに興味や関心のある人
- ・あらゆることに積極的に興味を持ち、感受性に富んだ人物であること
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有していること
- ・自身の創作目的を追求する姿勢を持つこと。ものづくりにおいて、柔軟な適応力と論理的思考力が秀でていること
- ・情報の解釈と創作活動において、主体的に向上心を兼ね備えていること

映像表現学科

映像表現学科では、映像に関する多様な表現領域に新たな価値を提供する技能や能力を養成する。徹底した少人数で専門的な教育を行うため、デジタルクリエイションコース、映画コース、アニメーションコースの3コースごとに選抜を行う。

◆デジタルクリエイションコース

デジタルクリエイションコースでは、デジタルコンテンツ制作に関する論理的思考力、サイバーフィジカルな環境におけるコミュニケーション能力、メディアテクノロジーを背景とした芸術的表現力、デザイン思考力および社会的倫理観もつクリエイターを養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・映像、音楽、CG、アニメーション、ゲームなどのコンテンツ制作分野やエンターテインメント分野において、作品の制作やこの分野の研究について積極的な興味がある人
- ・芸術系、理数系、文科系といったジャンルを問わず、観察力、表現力、論理的思考力、芸術的な感性力などの中に、特別な興味や能力のある人
- ・柔軟で多様な発想表現を可能にするための芸術的表現能力をもつ人
- ・主体的に学修し、学ぶことによって成長しようとする向上心のある人
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有し、共に切磋琢磨する意欲をもつ人

◆映画コース

映画コースでは、映画制作、映像表現の基礎と応用について学び、映画・映像世界の活躍できる能力を養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・映画、映像制作、またシナリオ・小説を書き表すことに興味や関心のある人
- ・高次のクリエイターを目指そうとする強い意欲、姿勢を持つ人
- ・柔軟な姿勢で粘り強くコツコツと努力を続け習得しようとする姿勢をもつ人
- ・映画と映画映像創作を真摯に探究しようとする意欲をもつ人
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有し、共に切磋琢磨する意欲をもつ人

◆アニメーションコース

アニメーションコースでは、想像力である「アイデア」と表現力である「テクニック」を一つとして捉え、芸術として映像作品を創り出し、多くの人が関わる映像制作業界の中で自らの能力を発揮できるクリエイターを養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・アニメーションへの強い興味や関心のある人
- ・あらゆることに積極的に興味を持ち、グローバルな視点から物事を思考することができる人
- ・創造力豊かで柔軟な姿勢をもつ人
- ・自分の創造力や感性を磨こうとする意志があり、さまざまなことを知識だけでなく自分の目で判断しようとする意欲をもつ人
- ・主体的に学修し、学ぶことによって成長しようとする向上心がある人
- ・考えの異なる人々と議論し模索するコミュニケーション力を有し、共に切磋琢磨する意欲をもつ人

アート・クラフト学科

アート・クラフト学科では、絶えず変化する現代社会に対応する広い見識と個性的な創造力を有する美術家や工芸家、あるいは教育者を養成する。

●求める学生像

- ・次のような素養や姿勢を持つ人を求める。
- ・絵画、フィギュア、彫刻、ガラス、陶芸、ジュエリー、メタルワーク、また美術教育に興味や関心のある人
- ・自然と人間社会、かたちや色彩への観察力をもつ人
- ・柔軟で多様な発想力を持つ人
- ・論理的に分析する思考力と人間の感性を理解しコミュニケーションができる人
- ・芸術的な表現力、言語力や理解力をもつ人

入学試験 日程一覧

タイプ	区分	2024年8月	9月	10月
熱意をアピール! 【専願】 あなたの意欲や熱意、そして適性や個性をさまざまな角度から評価する入試です。体験プログラムを通して評価する<体験型>と、あらかじめ用意した作品や資料などを評価する<面談型>の2種類があります。	総合型選抜Ⅰ期 <体験型> ▶ 14～17ページ		体験日 9/14 土 9/15 日 ・エントリー期間 (WEB)・・・9/23 金～9/27 月 ・エントリー書類郵送締切・・・9/3 火 (当日消印有効) ・出願期間 (WEB)・・・9/27 金～10/10 木 ・出願書類郵送締切・・・10/11 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・11/1 金 ・入学手続期間・・・11/1 金～入学金 11/22 金 学費等 12/6 金	
	総合型選抜Ⅱ期 <面談型> ▶ 18～21ページ		面談日 9/16 月 ・エントリー期間 (WEB)・・・9/23 金～9/27 月 ・エントリー書類郵送締切・・・9/3 火 (当日消印有効) ・出願期間 (WEB)・・・9/27 金～10/10 木 ・出願書類郵送締切・・・10/11 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・11/1 金 ・入学手続期間・・・11/1 金～入学金 11/22 金 学費等 12/6 金	
作品や制作物・資格で受験! 【併願可】 <作品持参型> 作品・制作物+面接で挑戦する入試です。制作過程において工夫したことや苦労したこと、学習意欲や適性を面接で確認します。2学科まで併願可能です。 <資格取得型> あなたが取得した資格等を評価する入試です (指定する資格・コンテスト等が条件)。2学科まで併願可能です。また、資格等の取得状況に応じた、特待生制度があります。	総合型選抜Ⅲ期 <作品持参型> ▶ 22ページ <資格取得型> ▶ 23～25ページ		試験日 10/12 土 ・出願期間 (WEB)・・・9/20 金～10/3 木 ・出願書類郵送締切・・・10/4 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・11/1 金 ・入学手続期間・・・11/1 金～入学金 11/22 金 学費等 12/6 金	
	総合型選抜Ⅴ期 <作品持参型> ▶ 22ページ <資格取得型> ▶ 23～25ページ			
	総合型選抜Ⅵ期 <作品持参型> ▶ 22ページ <資格取得型> ▶ 23～25ページ			
	総合型選抜Ⅶ期 <作品持参型> ▶ 22ページ <資格取得型> ▶ 23～25ページ			
得意科目で受験! 【併願可】 得意な科目を午前・午後から1科目ずつ最大2科目受験ができる入試です。1科目から受験が可能です。2学科まで併願可能です。また、成績優秀者を対象にした特待生制度があります。	総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> ▶ 26～27ページ			
	一般選抜Ⅰ期 <科目選択型> ▶ 26～27ページ			
大学入学共通テストを利用! 【併願可】 大学入学共通テストの3教科3科目以上の成績を利用して受験ができます。最高点の1教科1科目で判定します。4学科まで併願可能です。また、成績優秀者を対象にした特待生制度があります。	一般選抜Ⅱ期 <大学入学共通テスト利用型> ▶ 28ページ			
	一般選抜Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型> ▶ 28ページ			
多様な学びを実践! 【併願可】 外国籍の方や、外国の高校を卒業された日本人の方、現在社会で活躍されている方、そして専門学校や大学での学びを更に深めたい方を対象とした入試です。志望理由書・持参作品・面接を総合的に評価します。	留学生選抜Ⅰ期 ▶ 29ページ 帰国生・社会人選抜 ▶ 32ページ			
	留学生選抜Ⅱ期 ▶ 29ページ			
	編・転入学選抜Ⅰ期 ▶ 30～31ページ			
	編・転入学選抜Ⅱ期 ▶ 30～31ページ			

※その他、学校推薦型選抜指定校推薦／系列校推薦及び指定校推薦編入学選抜 (いずれも専願) を実施します。詳細は各校進路担当部門にご確認ください。
 ※必要書類の郵送は書類郵送締切日消印有効です。ただし、国外からエントリー/出願の場合は、エントリー/出願書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

11月	12月	2025年1月	2月	3月
	試験日 11/23 土 ・出願期間 (WEB)・・・11/1 金～11/11 月 ・出願書類郵送締切・・・11/2 火 (当日消印有効) ・合格発表・・・12/1 日 ・入学手続期間・・・12/1 日～入学金 12/13 金 学費等 1/6 月			
			試験日 2/3 土 ・出願期間 (WEB)・・・2/3 月～2/13 木 ・出願書類郵送締切・・・2/14 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・3/7 金 ・入学手続期間・・・3/7 金～3/14 金	試験日 3/1 土
試験日 11/3 日 ・出願期間 (WEB)・・・10/4 金～10/17 木 ・出願書類郵送締切・・・10/16 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・11/8 金 ・入学手続期間・・・11/8 金～入学金 11/22 金 学費等 12/6 金				
			試験日 2/8 土 ・出願期間 (WEB)・・・1/6 月～1/16 木 ・出願書類郵送締切・・・2/1 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・2/14 金 ・入学手続期間・・・2/14 金～入学金 2/21 金 学費等 2/28 金	
		・出願期間 (WEB)・・・1/20 月～1/30 木 ・出願書類郵送締切・・・1/31 金 (当日消印有効) ・入学手続期間・・・2/14 金 学費等 2/28 金	合格発表日 2/14 金	
		※本学で独自の試験はおこないません。 2025年1月18日(土)・19日(日)に実施される大学入学共通テストを必ず受験してください。		合格発表日 3/7 金 ・出願期間 (WEB)・・・2/3 月～2/13 木 ・出願書類郵送締切・・・2/14 金 (当日消印有効) ・入学手続期間・・・3/7 金～3/14 金
試験日 11/23 土 11/24 日 ・出願期間 (WEB)・・・10/4 金～10/17 木 ・出願書類郵送締切・・・10/16 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・12/1 日 ・入学手続期間・・・12/1 日～入学金 12/13 金 学費等 1/6 月				
			試験日 3/1 土 ・出願期間 (WEB)・・・1/6 月～1/16 木 ・出願書類郵送締切・・・2/1 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・3/7 金 ・入学手続期間・・・3/7 金～3/14 金	試験日 3/1 土
試験日 11/23 土 ・出願期間 (WEB)・・・10/4 金～10/17 木 ・出願書類郵送締切・・・10/16 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・12/1 日 ・入学手続期間・・・12/1 日～入学金 12/13 金 学費等 1/6 月				
			試験日 3/1 土 ・出願期間 (WEB)・・・1/6 月～1/16 木 ・出願書類郵送締切・・・2/1 金 (当日消印有効) ・合格発表・・・3/7 金 ・入学手続期間・・・3/7 金～3/14 金	試験日 3/1 土

エントリー／出願資格・募集人員 ※外国の国籍をもち、外国の学校を卒業(見込)の方は8～9ページをご確認ください。

以下の1～8のいずれかに該当する者。ただし入試区分によってエントリー／出願資格が異なりますので、下の表も必ずご確認ください。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
3. 高等学校卒業程度認定試験(旧:大学入学資格検定)に合格した者、または2025年3月31日までに合格見込みの者。
4. 文部科学大臣が、高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
6. 文部科学大臣の指定した者。
7. 本学が、高等学校卒業と同等以上の学力があると認めたと者で、18歳に達した者。
8. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者、もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

入試区分	募集人員	エントリー／出願資格	卒業年月
総合型選抜Ⅰ期 <体験型>	35%	上記1～7のいずれかに該当し、本学を専願とする者。 ※上記8の出願資格の方はエントリーできません。	不問
総合型選抜Ⅱ期 <面談型>	15%		
総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期 <作品持参型>	30%	上記1～8のいずれかに該当する者。	2024年3月 または 2025年3月 上。
総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>			
総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期 <資格取得型>			
一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	15%	上記1～8のいずれかに該当する者。	不問
総合型選抜Ⅵ期 <作品持参型>			
総合型選抜Ⅵ期 <資格取得型>		上記1または2に該当し、24～25ページで指定する対象資格の種別・級またはコンテスト等の種別・賞位の出願条件を満たす者(1資格取得または1コンテスト入賞以上)。	2024年3月 または 2025年3月 上。
一般選抜Ⅱ期／Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	5%	上記1～8のいずれかに該当し、「令和7年度大学入学共通テスト」で本学が指定する3教科3科目以上を受験した者。	不問
留学生選抜Ⅰ期／Ⅱ期	若干名	上記1または7に該当し、外国籍を有する者。	不問

※編・転入学選抜Ⅰ期／Ⅱ期の出願資格等については30～31ページをご確認ください。
 ※帰国生／社会人選抜の出願資格については32ページをご確認ください。
 ※出願資格7で受験を希望される方は、エントリー／出願開始の1ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。
 ※卒業・修了・合格見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2025年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は、入学資格を取り消します。

提出書類 ※外国の国籍をもち、外国の学校を卒業(見込)の方は8～9ページをご確認ください。

各入試区分のエントリー／出願書類郵送締切日までに簡易書留速達郵便にて郵送してください(締切日消印有効)。

ただし、国外からエントリー／出願の場合は、エントリー／出願書類郵送締切日までに必着とします。

本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「入試情報」のページ(<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>)からダウンロードしてください。

※書類は特に指定がない限り原本を提出してください。

※必要に応じて下記以外の書類の提出を求める場合があります。

入試区分	提出書類 ※エントリー／出願時の郵送書類					
	インターネット 志願票	調査書 ★1	自己PR書 (本学所定様式) ★2	志望理由書 (本学所定様式)	資格・ コンテスト入賞の 証明書 ★3	大学入学共通 テスト成績請求票
総合型選抜Ⅰ期 <体験型>	●	●	●	●		
総合型選抜Ⅱ期 <面談型>		2次選考時に提出	1次選考時に提出	2次選考時に提出		
総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <作品持参型>	●	●		● ★2		
総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>	●	●		● ★2	●	
総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>	●	●				
一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	●	●				
一般選抜Ⅱ期／Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	● 写真データ不要	●				●
留学生選抜Ⅰ期／Ⅱ期	●	●		●		

★1 調査書は、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。

▶調査書は、面接の参考として使用する他に、「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生は、その値を一律に「3.5」とみなし換算します。

▶廃校・被災・その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業証明書を提出してください。

▶必要に応じて上記以外の書類の提出を求める場合があります。

▶出願資格3または8に該当する方は、調査書に代わって以下の書類(原本)を提出してください。

大学入学資格検定に合格	合格成績証明書	
高等学校卒業程度認定試験に合格(見込)	合格成績証明書または合格見込成績証明書	
外国の学校を卒業(見込)	1. 出身高等学校の卒業(見込)証明書 高等学校の卒業証書(Diploma)ではありません。 卒業証明書(Certificate of Graduation)または卒業見込証明書(Certificate of Expected Graduation)を提出してください。 2. 出身高等学校の成績証明書 出身高等学校長が作成した、高等学校在学全期間の成績証明書を提出してください。	日本語または英語で記載された証明書を提出してください。 日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語に翻訳し、大使館・領事館・公証人などの公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)において、原本と訳本の内容に相違ないことの証明を受けた上で、原本と翻訳の両方を提出してください。 また、全ての書類に公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)の公印を必要とします。 ※詳細は9ページ「証明書の翻訳について」をご確認ください。

★2 エントリー／出願する学科ごとに作成し提出してください。

★3 個別資格・個別コンテスト等 受賞に関する証明書

▶指定の「個別資格・個別コンテスト等受賞に関する出願条件」に該当する証明書または賞状のコピーを1部提出してください。(コンテスト等に団体で出場された方は出場者名がわかる書類のコピーを1部提出してください。)

※編・転入学選抜Ⅰ期／Ⅱ期の提出書類等については30～31ページをご確認ください。

※帰国生／社会人選抜の提出書類等については32ページをご確認ください。

出願資格 ※外国の国籍をもち、外国の学校を卒業(見込)の方

以下のすべてに該当する者。

- 外国の国籍を有し、外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または2025年3月31日までに修了見込みの者、もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- 出願時点で、公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する日本語能力試験(JLPT)における「N2」以上の資格保有者、もしくは独立行政法人日本学生支援機構が主催する日本留学試験(EJU)「日本語」における「読解」/「聴解・聴読解」の合計が「220点以上」の者。

※国費留学生で上記の日本語能力に該当しない場合は、出願開始の1ヶ月前までに広報入試課へ相談してください。

入試区分	出願資格
留学生選抜Ⅰ期/Ⅱ期	上記1・2のすべてに該当する者。 ※ただし、Ⅱ期については、出願時に有効な中長期在留資格を有し、日本国内に在住している者に限る。
総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <作品持参型>	上記1・2のすべてに該当する者。 ※ただし、Ⅵ期については、出願時に有効な中長期在留資格を有し、日本国内に在住している者に限る。
総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>	上記1・2のすべてに該当する者。
一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	
一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	上記1・2のすべてに該当し、「令和7年度大学入学共通テスト」で本学が指定する3教科3科目以上を受験した者。

※募集人員については6ページの表をご確認ください。

※編・転入学選抜Ⅰ期/Ⅱ期の出願資格等については30~31ページをご確認ください。

※卒業・修了・合格見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2025年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は、入学資格を取り消します。

※入学に際して必要な在留資格を取得することができない場合は、入学資格を取り消します。

提出書類 ※外国の国籍をもち、外国の学校を卒業(見込)の方

各入試区分の出願書類郵送締切日までに簡易書留速達郵便にて郵送してください(締切日消印有効)。

ただし、国外から出願の場合は、出願書類郵送締切日までに必着とします。

本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「入試情報」のページ(<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>)からダウンロードしてください。

※書類は特に指定がない限り原本を提出してください。

※必要に応じて下記以外の書類の提出を求める場合があります。

1. インターネット志願票

2. 履歴書

本学所定の様式に記入してください。

3. 出身高等学校の卒業(見込)証明書

※高等学校の卒業証書(Diploma)ではありません。

卒業証明書(Certificate of Graduation)または卒業見込証明書(Certificate of Expected Graduation)を提出してください。

4. 出身高等学校の成績証明書

※出身高等学校長が作成した、高等学校在学全期間の成績証明書を提出してください。

5. 本人であることを証明する書類

○全員……………パスポートのコピー(氏名及び顔写真が記載されたページの見開きコピー)

○日本国内在住者……………パスポートのコピーに加えて、在留カードまたは外国人登録証明書の両面コピー

6. 日本語能力についての証明書

次のいずれか、または両方

○日本語能力試験(JLPT)……………合格結果通知書、日本語能力認定書、認定結果および成績に関する証明書のいずれか ※コピー可

○日本留学試験(EJU)……………成績通知書、成績証明書、成績確認書のいずれか ※コピー可

※成績確認書(コピー可)を提出する場合は、対象となる日本留学試験を右記のとおりとします。成績通知書または成績証明書(コピー可)を提出する場合は、日本留学試験の実施年度や実施回は問いません。

日本語または英語で記載された証明書を提出してください。
日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語に翻訳し、大使館・領事館・公証処などの公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)において、原本と訳本の内容に相違ないことの証明を受けた上で、原本と翻訳の両方を提出してください。
また、全ての書類に公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)の公印を必要とします。
※詳細は9ページ「証明書の翻訳について」をご確認ください。

入試区分	対象となる日本留学試験
総合型選抜Ⅲ期 <作品持参型>	2022年度 第2回(11月実施)
総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>	2023年度 第1回(6月実施)
総合型選抜Ⅴ期 <作品持参型>	2023年度 第2回(11月実施)
留学生選抜Ⅰ期	2024年度 第1回(6月実施)
編・転入学選抜Ⅰ期	2024年度 第1回(6月実施)
一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	2023年度 第1回(6月実施)
一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	2023年度 第2回(11月実施)
総合型選抜Ⅲ期 <作品持参型>	2024年度 第1回(6月実施)
留学生選抜Ⅱ期	2024年度 第2回(11月実施)

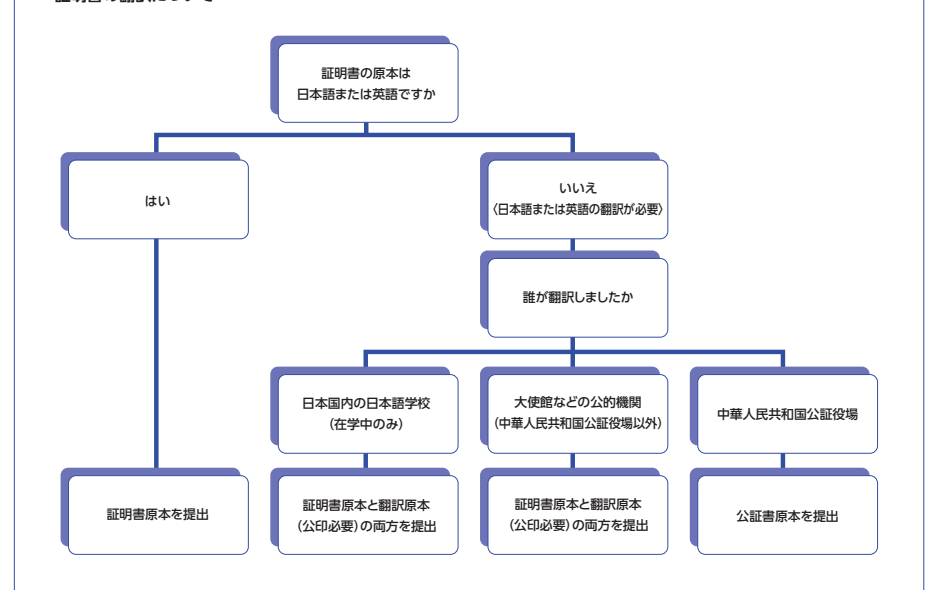
入試区分によって左記以外の提出書類が異なりますので、下記の表も必ずご確認ください。

入試区分	提出書類		
	8ページ[提出書類]の1~6	志望理由書(本学所定様式)	大学入学共通テスト成績請求票
留学生選抜Ⅰ期/Ⅱ期	●	●	
総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <作品持参型>	●	● ★1	
総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>	●		
一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	●		
一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	● 写真データ不要		●

★1 出願する学科ごとに作成し提出してください。

※編・転入学選抜Ⅰ期/Ⅱ期の提出書類等については30~31ページをご確認ください。

証明書の翻訳について



エントリー／出願の流れ



エントリー／出願はインターネットエントリー／出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても、提出期限に書類が届かなければ出願を完了できませんので注意してください。

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、大学入学共通テスト成績請求票など
詳細は各入試区分における提出書類の項目を参照してください。

STEP 2 インターネットエントリー／出願サイトにアクセス

インターネットエントリー／出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/kobe-du/>
または、
大学ウェブサイト ▶ <https://www.kobe-du.ac.jp/>
からアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

- ①初めて登録する方は「マイページ登録」からログインしてください。
- ②メールアドレスの登録を行って「仮メールを送信」をクリックしてください。
- ③ユーザー登録画面から「初期パスワードへ」をクリックしてください。
- ④登録したメールアドレスに「ログインURL」が届きます。
※@e-apply.jpのメインからのメールを受信できるように設定してください。
- ⑤ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて「ログイン」をクリックしてください。
- ⑥初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦表示された個人情報を入力して「次へ」をクリックしてください。
- ⑧個人情報を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。

- ⑨登録完了となります。「マイページへ」をクリックしてください。
- ⑩上記ページが表示されたらマイページ登録は完了です。
※エントリー／出願受付中の場合のみ、「エントリー／出願する」ボタンをクリックするとエントリー／出願に進めます。登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。

STEP 4 エントリー／出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

- ①マイページログイン後の「エントリー／出願する」ボタンから登録画面へ
- ②入試選択と留意事項の確認
- ③入試区分、志望学部等の選択
- ④顔写真のアップロード
「写真選択へ」ボタンをクリックし写真を選択します。
- ⑤個人情報(氏名・住所等)の入力
- ⑥エントリー／出願内容の確認
「志願票」ボタンをクリックすると志願票が確認できます。
- ⑦申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
申込情報を確認する場合、エントリー／出願書類を出力する際に必要になります。
- ⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング
●クレジットカード ●ネット銀聯
- ⑨エントリー／出願に必要な書類PDF(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたいうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブンイレブンの場合												
払込票番号												メモ(13桁)
デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合												
オンライン決済												番号メモ(11桁)
収納機関番号												5 8 0 2 1

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

! 申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5 入学検定料の支払い ※検定料のかからない区分・段階・対象の方は、STEP6に進みます。

1 クレジットカード・ネット銀聯での支払い 出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】 [ネット銀聯]

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い
出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。 ※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

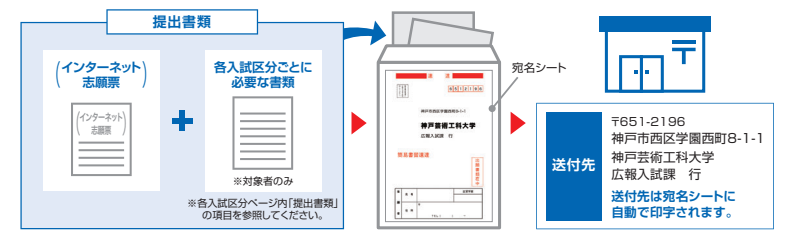
3 コンビニエンスストア **4 銀行ATM**

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキダイリーストア	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート	Pay-easy 利用ATM
 店頭レジ レジで「インターネット代金支払い」と伝える [払込番号 (13桁)]を伝える レジで検定料を現金で支払う※ 領収書(レシート形式)を必ず受け取る	 店頭レジ 「オンライン決済」と伝える [オンライン決済番号 (11桁)]を伝える レジで検定料を現金で支払う※ 領収書(レシート形式)を必ず受け取る	 Loppi 「各種番号をお持ちの方」を選択 [お客様番号 (11桁)]を入力 「マルチペイメントサービス」を選択 「確認番号 (6桁)」を入力 支払い内容確認 発行された申込券(受付票)をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて支払ってください。	 マルチコピー機 「代金支払い/チャージ(コンビニでお支払い Payment/Charge)」を選択 [お客様番号 (11桁)]を入力 「確認番号 (6桁)」を入力 支払い内容確認 取扱明細書兼領収書を必ず受け取る	 店頭レジ レジで「インターネット代金支払い」と伝える [オンライン決済番号 (11桁)]を伝える レジで検定料を現金で支払う※ 領収書(レシート形式)を必ず受け取る	 ペイジー対応銀行ATM 「税金・料金払い込み」などを選択 収納機内番号「58021」を入力 [お客様番号 (11桁)]を入力 「確認番号 (6桁)」を入力 支払い内容確認 「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※ ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6 必要書類の印刷と郵送 登録しただけではエントリー／出願は完了していませんのでご注意ください。

エントリー／出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類と併せてエントリー／出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達郵便」で郵送してください。
※エントリー／出願書類郵送締切日消印有効(国外からの場合は締切日までに必着)。



**エントリー／出願内容の確認
志願票・受験票の印刷**

マイページへログイン後、確認したい申込の枠内にて自分が登録した内容の確認と、インターネット志願票等の出力ができます。

〈エントリー／出願完了〉

エントリー／出願時の注意

エントリー／出願はインターネットエントリー／出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録が完了しても、提出期限に書類が届かなければ出願を完了できませんので注意してください。

インターネットエントリー／出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願期間最終日23時59分まで、入学検定料の支払いは出願期間最終日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送はエントリー／出願書類郵送締切日消印有効(国外からの場合は締切日までに必着)です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7 エントリー受付票／受験票の印刷

本学でエントリー／出願を確認後、各入試区分毎に**試験2日前までに一斉に受験票**を配付します。インターネットエントリー／出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。
【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷し、所定の箇所まで切り取ったものをご用意ください。

エントリー／出願に関する注意

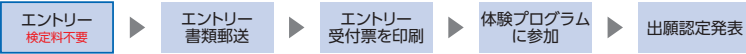
- エントリー／出願は簡易書留速達郵便に限りです。それ以外の受付は一切おこないません。
- 必要書類の郵送はエントリー／出願書類郵送締切日消印有効です。ただし、国外からエントリー／出願の場合は、エントリー／出願書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
- 書類に不備のある場合は受理できません。
- いったん受理したエントリー／出願書類は返却できません。
- 入試において、氏名等に含まれる旧字体を常用漢字に置き換えて記載することがあります。
- 書類は指定がない限り、原本を提出してください。
- 自筆を要する内容は油性黒色ボールペン(細字、0.7mm程度)を使用してください。赤・青・緑色など黒色以外のものや、鉛筆、消せるボールペン(インク)の使用は不可とします。

◆総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉

募集人員・エントリー資格・エントリー時提出書類

6～7ページを参照してください。

エントリーの流れ



※エントリーの流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

- エントリー……………無料

入学試験日程

区分	エントリー期間(WEB)	エントリー書類郵送締切※1	1次選考※2	出願認定発表
総合型選抜Ⅰ期 〈体験型〉	8/23(金) 00:00 ～ 9/2(月) 23:59	登録後 ～ 9/3(火) 当日消印有効	体験プログラム 9/14(土) ～ 9/15(日)	9/27(金)

※1 エントリー書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 エントリー受付票は体験プログラムの2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを当日ご持参ください。体験プログラムの集合時間等は16～17ページの各学科詳細ページを参照してください。なお、エントリー者数により、集合時間等は変更する場合があります。

選考・配点

【1次選考】

自己PR書+体験プログラム
(総合評価)
200点満点

※自己PR書、体験プログラムを通じて、学科への適性を評価します。体験プログラムで制作した作品は、評価の対象となりません。

POINT

エントリーについて

- 2学科までエントリーが可能です。
- エントリー時には調査書は不要です。
- エントリーの段階で体験プログラムの参加日を選択することはできません。各学科の体験プログラム参加日は、プログラム実施の2日前までに配信するエントリー受付票を確認してください。
- 2学科でエントリーする場合や総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉を併せてエントリーする場合は自己PR書がエントリーごとに必要です。
- 学科単位で選考を行います。

募集人員・出願資格・出願時提出書類

6～7ページを参照してください。

※出願認定後の提出書類は、認定通知に同封してお知らせします。

出願の流れ



※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

- 出願……………35,000円 ※検定料減免の制度があります。条件は下記の「POINT」をご確認ください。

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	2次選考※2	合格発表	入学手続き期間
総合型選抜Ⅰ期 〈体験型〉	出願認定発表 ～ 10/10(木) 23:59	検定料支払後 ～ 10/11(金) 当日消印有効	書類選考 来校の必要はありません	11/1(金)	合格発表 ～ 入金金 11/22(金) 当日消印有効 学費等 12/6(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 出願受付票は合格発表の2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、お手元に保管ください。

選考・配点

【2次選考】

志望理由書 **95点** + 調査書 **5点** → **100点満点**

POINT

出願について

- 出願手続き時に志望理由書と調査書が必要です。
- 出願手続き後は、専願となります。出願手続き後の辞退はできません。なお、専願型区分において合格となった場合入学手続きを完了する必要があります。
- 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉でそれぞれ出願認定が出た場合は、どちらか希望する学科のみ出願手続きを行ってください。なお、出願手続き後は、学科の変更はできません。
- 受験生本人が2024年4月～8月までの本学オープンキャンパスに参加すると、2025年度入学試験 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉/Ⅱ期〈面談型〉の検定料が15,000円減免になります。

建築・環境デザイン学科

1次選考

①自己PR書 中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②体験プログラム 両日とも同じ内容でおこないます。
[空間表現プログラム]
プログラムの最初に、インテリアや建物、広場、まちなど、私たちの日常にあるさまざまな空間に関連したテーマをお知らせします。その後、学科の教員がテーマに関連した簡単なレクチャーを行いますので、その内容を参考にしながら自分の考えやアイデアを、文章もしくはスケッチ、模型など自分の取り組みたい方法で表現します。完成したら、それについて簡単な説明をしていただけます。このプログラムは専門的な知識や経験が無くても十分に理解し、取り組むことができる内容です。



制作風景



制作風景

2次選考

①志望理由書 志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書 調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/14(土)・9/15(日)
9:45 集合(受付開始9:00)
ガイダンス
10:00 課題説明
10:30 体験プログラム
12:00 昼食(各自持参してください)
13:00 体験プログラム
14:00 講評会
16:00 終了予定

持参物 (両日共通)

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・昼食

ビジュアルデザイン学科

1次選考

①自己PR書 中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②体験プログラム 両日とも同じ内容でおこないます。
[さまざまな素材のコラージュや着色]
まずは与えられた共通テーマについて、グループ（5名程度）ごとに話し合います。その中で決まったグループテーマをもとに、個人制作に取り組んでもらいます。とくに難しい技術は必要としません。最後に作品の発表会をおこないます。



制作風景



グループ発表会

2次選考

①志望理由書 志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書 調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/14(土)・9/15(日)
9:45 集合(受付開始9:00)
ガイダンス
10:00 体験プログラム(制作)
12:00 昼食(各自持参してください)
13:00 体験プログラム(制作)
15:00 発表会
17:00 終了予定

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・ハサミ
- ・カッターナイフ
- ・のり
- ・昼食

生産・工芸デザイン学科

1次選考

①自己PR書 中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②体験プログラム 両日とも同じ内容でおこないます。
[アイデア・表現プログラム]
プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトの分野に共通するものづくりを体験する入門的なプログラムです。与えられた制作課題（例：雑貨、帽子、アクセサリなど）とテーマ（例：リサイクル、季節、未来など）から発想し、作品や簡易モデルを制作します。このプログラムは、専門知識や技能がなくとも、教員のアドバイスを受けながら取り組むことができる課題です。最後に制作物について発表してもらいます。



制作風景



教員のアドバイス

2次選考

①志望理由書 志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書 調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/14(土)・9/15(日)
9:45 集合(受付開始9:00)
ガイダンス
10:00 課題説明
10:30 体験プログラム
12:00 昼食(各自持参してください)
13:00 体験プログラム
15:30 レポート作成
16:00 発表
17:00 終了予定

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・ハサミ
- ・カッターナイフ
- ・コンパス
- ・定規
- ・昼食

メディア芸術学科

1次選考

①自己PR書 中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動（例：作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動）や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。

②体験プログラム 両日とも同じ内容でおこないます。
[物語を構成]
提示されたビジュアル素材（写真等）20点余りから4点を選択し物語を構成します。4点の内最低2点是用意された写真を使っています。用意された資料や写真はコラージュしても構いません。絵を描ける受験生は自分自身で絵を描いて表現しても結構です。午後から、グループで相談し合った物語を、スクリーンを用い声や音、ビジュアルに演出を加えて発表します。1グループ4～6名に分かれてのグループワークです。



制作風景



グループ発表会

2次選考

①志望理由書 志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。

②調査書 調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/14(土)・9/15(日)
9:45 集合(受付開始9:00)
ガイダンス
10:00 体験プログラム(制作)
12:00 昼食(各自持参してください)
13:00 体験プログラム(制作)
発表会・講評レポート作成
17:00 終了予定

持参物

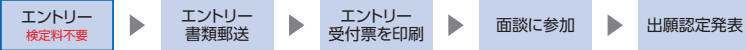
- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・昼食

◆総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉

募集人員・エントリー資格・エントリー時提出書類

6～7ページを参照してください。

エントリーの流れ



※エントリーの流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

- エントリー……………無料

入学試験日程

区分	エントリー期間(WEB)	エントリー書類郵送締切※1	1次選考※2	出願認定発表
総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉	8/23(金) 00:00 } 9/2(月) 23:59	登録後 } 9/3(火) 当日消印有効	面談 9/16(月)	9/27(金)

※1 エントリー書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 エントリー受付票は面談の2日前までに一言に配信します(郵送はいたしません)。インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを当日ご持参ください。

面談日の集合時間等は20～21ページの各学科詳細ページを参照してください。なお、エントリー者数により、集合時間等は変更する場合があります。

選考・配点

【1次選考】

自己PR書+課題(当日持参)+面談
(総合評価)
200点満点

※自己PR書や面談、課題(持参作品・ポートフォリオ等)を通じて、学科への適性を評価します。

POINT

エントリーについて

- 1学科のみエントリーが可能です。
- エントリー時には調査書は不要です。
- 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉の両方にエントリーする場合、入試区分ごとに提出書類が必要です。
- 学科単位で選考を行います。

募集人員・出願資格・出願時提出書類

6～7ページを参照してください。

※出願認定後の提出書類は、認定通知に同封してお知らせします。

出願の流れ



※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

- 出願……………35,000円 ※検定料減免の制度があります。条件は下記の「POINT」をご確認ください。

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	2次選考※2	合格発表	入学手続き期間
総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉	出願認定発表 } 10/10(木) 23:59	検定料支払後 } 10/11(金) 当日消印有効	書類選考 来校の必要はありません	11/1(金)	合格発表 } 入学金 11/22(金) 当日消印有効 } 学費等 12/6(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 出願受付票は合格発表の2日前までに一言に配信します(郵送はいたしません)。インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、お手元に保管ください。

選考・配点

【2次選考】

志望理由書 **95点** + 調査書 **5点** → **100点満点**

POINT

出願について

- 出願手続き時に志望理由書と調査書が必要です。
- 出願手続き後は、専願となります。出願手続き後の辞退はできません。なお、専願型区分において合格となった場合入学手続きを完了する必要があります。
- 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉でそれぞれ出願認定が出た場合は、どちらか希望する学科のみ出願手続きを行ってください。なお、出願手続き後は、学科の変更はできません。
- 受験生本人が2024年4月～8月までの本学オープンキャンパスに参加すると、2025年度入学試験 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉/Ⅱ期〈面談型〉の検定料が15,000円減免になります。

建築・環境デザイン学科

1次選考		当日のスケジュール
面談型	①自己PR書	中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動(例:作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動)や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。
	②課題 【持参作品・資料】 (当日持参)	持参作品・資料を、試験当日に持参してください。持参作品・資料は、建築・環境デザイン分野への関心や学習意欲をアピールするためのものです。具休例としては、以下のようなものがあげられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・デッサン、立体造形作品、イラスト、模型などの作品 ・クラブ活動や地域行事などで取り組んだことの成果品や活動の記録をまとめた資料 ・興味を持った建物や風景について、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート(詳細は34ページを参照してください)
	③面談	自己PR書にふれながら、受験生の皆さんが建築・環境デザインの分野に抱いている関心や将来の夢、本学科のデザイン教育の特徴などを話題に複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。面談を通じて、皆さんの学習意欲や将来性を見出します。
2次選考		
	①志望理由書	志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。
	②調査書	調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)
9:40 集合(受付開始8:55)
10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題(持参作品・資料)

ビジュアルデザイン学科

1次選考		当日のスケジュール
面談型	①自己PR書	中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動(例:作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動)や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。
	②課題 【持参作品】 (当日持参)	デッサン、絵画(油絵、水彩画等)、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5~10点を目安に持参してください。デッサンなど、持ち運べる大きさの手書き作品は、現物を持参していただく方が望ましいです。
	③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。教員との個人面談を通して、デザインや学習に対する意欲や可能性を見出すことを目的としています。持参作品の他に自分をアピールできる効果的なPR資料があれば持参してください(任意)。各種資格証明書やコンクール等の入賞記録、クラブ活動の記録等、どのような形式のものでも構いません。
2次選考		
	①志望理由書	志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。
	②調査書	調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)
9:40 集合(受付開始8:55)
10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題(持参作品)
- ・PR資料(面談用)※任意

生産・工芸デザイン学科

1次選考		当日のスケジュール
面談型	①自己PR書	中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動(例:作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動)や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。
	②課題 【ポートフォリオ】 (当日持参)	課題のポートフォリオは当日試験会場に持参してください。ポートフォリオは、プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフトの分野への関心や学習意欲をアピールするためのものです。あなた自身の活動を取りまとめた資料や作品の写真や写真をまとめた資料などファイルにまとめてください。写真資料の具体例としては、以下のようなものがあげられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・デッサン、絵画、デザイン、イラスト、写真、自作した衣服、立体作品(ガラス、陶芸、金工、フィギュア、彫刻など)
	③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。受験生と教員との理解を深め、当日持参したポートフォリオの説明をもとに学習意欲や可能性を見出すことを目的としています。
2次選考		
	①志望理由書	志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。
	②調査書	調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)
9:40 集合(受付開始8:55)
10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題(ポートフォリオ)

メディア芸術学科

1次選考		当日のスケジュール
面談型	①自己PR書	中学・高等学校を通じて興味や関心を持って熱心に取り組んできた活動(例:作品制作、勉強、スポーツ、ボランティア活動)や経験等について、取り組み実績と取り組んで得られた経験や学んだことを500字以上600字以内で書いてください。
	②課題 【持参作品】 (当日持参)	自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。詳細は34ページを参照してください。
	③面談	複数教員による1人15分程度の個人面談をおこないます。課題(持参作品)を通して教員と受験生、お互いの理解を深めるとともに、本人の適性や意欲、秘められた可能性などを見出すことを目的とします。
2次選考		
	①志望理由書	志望学科を選んだ理由、入学後の計画、将来の夢などを500字以上600字以内で書いてください。
	②調査書	調査書の「全体の学習成績の状況」または「評定平均値」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化します。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算します。

当日のスケジュール

9/16(月)
9:40 集合(受付開始8:55)
10:00 面談開始

持参物

- ・エントリー受付票
- ・筆記用具一式
- ・課題(持参作品)

総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <作品持参型>

募集人員・出願資格・提出書類

6～9ページを参照してください。
※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

35,000円

持参物

受験票、作品（詳細は34ページを参照）

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日※2	合格発表	入学手続き期間
総合型選抜Ⅲ期 <作品持参型>	9/20(金) 00:00 } 10/3(木) 23:59	検定料支払後 } 10/4(金) 当日消印有効	10/12(土) 集合時間 9:40 面接開始 10:00	11/1(金)	合格発表 } 入学金 11/22(金) 当日消印有効 } 学費等 12/6(金) 当日消印有効
総合型選抜Ⅴ期 <作品持参型>	11/1(金) 00:00 } 11/11(月) 23:59	検定料支払後 } 11/12(火) 当日消印有効	11/23(土) 集合時間 9:10 面接開始 9:30	12/1(日)	合格発表 } 入学金 12/13(金) 当日消印有効 } 学費等 1/6(月) 当日消印有効
総合型選抜Ⅵ期 <作品持参型>	2/3(月) 00:00 } 2/13(木) 23:59	検定料支払後 } 2/14(金) 当日消印有効	3/1(土) 集合時間 9:40 面接開始 10:00	3/7(金)	合格発表 } 3/14(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必需とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
なお、総合型選抜Ⅴ期<作品持参型>における留学生の出願は国内在住者に限りです。
※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。
インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを当日ご持参ください。
出願者数により、集合・面接時間を変更する場合があります。その際は別途通知します。

選考・配点

志望理由書+持参作品+面接
190点

+

調査書
10点

➔

200点満点

POINT 総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <作品持参型> 共通

出願について

- 2学科まで併願が可能です。
- 同一の区分内であれば、1回の入学検定料35,000円(再受験の場合は5,000円)で併願できます(36ページ参照)。
- 学科単位で選考をおこないます。
- 複数の学科で合格基準を満たしていた場合、志望順位が上位の学科のみ合格を通知します。

総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>

募集人員・出願資格・提出書類

6～7ページを参照してください。※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

35,000円

持参物

受験票

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日※2	合格発表	入学手続き期間
総合型選抜Ⅲ期 <資格取得型>	9/20(金) 00:00 } 10/3(木) 23:59	検定料支払後～ } 10/4(金) 当日消印有効	10/12(土) 集合時間 9:40 面接開始 10:00	11/1(金)	合格発表～ } 入学金 11/22(金) 当日消印有効 } 学費等 12/6(金) 当日消印有効
総合型選抜Ⅴ期 <資格取得型>	11/1(金) 00:00 } 11/11(月) 23:59	検定料支払後～ } 11/12(火) 当日消印有効	11/23(土) 集合時間 9:10 面接開始 9:30	12/1(日)	合格発表～ } 入学金 12/13(金) 当日消印有効 } 学費等 1/6(月) 当日消印有効
総合型選抜Ⅵ期 <資格取得型>	2/3(月) 00:00 } 2/13(木) 23:59	検定料支払後～ } 2/14(金) 当日消印有効	3/1(土) 集合時間 9:40 面接開始 10:00	3/7(金)	合格発表～ } 3/14(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必需とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。
インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを試験当日にご持参ください。
出願者数により、集合・面接時間を変更する場合があります。その際は別途通知します。

特待生制度

総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>で合格し本学へ入学した方で以下の要件を満たす場合は奨学金給付を受けることができます。
※同一人物が以下1～4で複数の特待生認定を受けることはできません。

奨学金の種類	給付金額	内容等
1. ジュニアマイスター ゴールド特待生	1,000,000円 (入学初年度のみ)	総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度においてジュニアマイスターゴールドの認定を受けた方。
2. ジュニアマイスター シルバー特待生	500,000円 (入学初年度のみ)	総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度においてジュニアマイスターシルバーの認定を受けた方。
3. ジュニアマイスター ブロンズ特待生	250,000円 (入学初年度のみ)	総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度においてジュニアマイスターブロンズの認定を受けた方。
4. 指定資格等取得 特待生	250,000円 (入学初年度のみ)	総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、24～25ページ記載の出願条件の資格・級およびコンテスト等の種別・賞位を2資格以上取得した方。指定資格の数等は本ページ下部を参照してください。

※全国工業高等学校長協会に加盟していない高等学校の出身で、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度による特待生を検討される方は、出願前にご連絡ください。
※合格・入学手続き完了後、新たに資格等取得・認定された場合も特待生として認定します。ただし、2025年3月14日までに証明書(写)の提出が必要となります(必着)。期日までに提出がない場合、特待生の認定を受けることができません。
※指定資格の数え方
●任意の種別の資格またはコンテスト等については、複数の級・賞位を有していても「1つ」とカウント
例) 3級以上が条件の資格について、3級と2級を持っている……………1資格
例) 「入賞以上」が条件のコンクールについて、同一審査機会の入賞と優秀賞を持っている……………1資格
●同一のコンクールについて、審査機会が異なる場合には各回ごとに「1つ」ずつでカウント
例) 「出品者」が出願条件の「全国高等学校総合文化祭」を、「第47回」と「第48回」で2回出品している……………2資格

選考・配点

志望理由書+面接 190点

+

調査書 10点

➔

200点満点

POINT 総合型選抜Ⅲ期／Ⅴ期／Ⅵ期 <資格取得型> 共通

出願について

- 2学科まで併願が可能です。
- 同一の区分内であれば、1回の入学検定料35,000円(再受験の場合は5,000円)で併願できます(36ページ参照)。
- 学科単位で選考をおこないます。
- 複数の学科で合格基準を満たしていた場合、志望順位が上位の学科のみ合格を通知します。

個別資格・個別コンテスト等受賞に関する出願条件

※個別資格・個別コンテスト等が出願条件に該当するか不明な場合、出願開始の1ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

全学科共通

資格・検定等の名称	等級ほか	資格・検定等の名称	等級ほか
計算技術検定	2級以上	レタリング技能検定	2級以上
情報技術検定	1級以上	福祉住環境コーディネーター検定試験	2級
機械製図検定	合格以上	eco検定試験(環境社会検定)	合格
パソコン利用技術検定	1級	情報処理技術者試験(応用・基本・ITパスポート)	IT以上
リスニング英語検定	2級以上	情報処理技術者試験(情報セキュリティマネジメント)	合格
グラフィックデザイン検定	2級以上	高校生ものづくりコンテスト	ブロック入賞 県優勝以上
高等学校工業基礎学力テスト	90以上	全日本ロボット相撲大会(高校生の部)	地区優勝以上
日本漢字能力検定	準1級以上	ジャパンマイコンカーラリー Advanced Class	地区優勝以上
実用数学技能検定	準1級以上	ジャパンマイコンカーラリー Basic Class	全国入賞以上
造園/造園工事作業	3級以上	ジャパンマイコンカーラリー Camera Class	全国入賞以上
建築大工/大工工事作業	3級以上	技能五輪全国大会	都道府県代表以上
テクニカルイラストレーション/ テクニカルイラストレーション手書き作業	3級以上	若年者ものづくり競技大会	各賞以上
テクニカルイラストレーション/ テクニカルイラストレーションCAD作業	3級以上	全国高校生プログラミングコンテスト	入賞以上
ウェブデザイン技能検定	3級以上	全国高等学校パソコンコンクール(パソコン甲子園)	入賞以上
3次元CAD認定技術者試験	CSWP	全国高等学校IT・簿記選手権(IT部門のみ)	全国入賞
色彩士検定	1級	全国高等学校ロボット競技大会	地区優勝以上
カラーコーディネーター検定	アドバンス	マイクロロボコン高校生大会	優勝
色彩検定	2級以上	ロボカップジャパンオープン	全国入賞以上
織物設計検定	2級	WRO Japan	全国入賞以上
土木施工管理技術検定	2級技士補	高校生ものづくりコンテストポスターコンクール	優秀以上
建築施工管理技術検定	2級技士補	全国製図コンクール	最優秀以上
電気工事施工管理技術検定	2級技士補	高校生技術・アイデアコンテスト全国大会	特別賞以上
管工事施工管理技術検定	2級技士補	機関誌「工業教育」表紙デザイン	最優秀
造園施工管理技術検定	2級技士補	工高生デザインコンクール	入選以上
建設機械施工管理技術検定	2級技士補	日本建築学会設計競技	入選以上
インテリアコーディネーター資格試験	合格	全国高校生建築製図コンクール課題3又は5	銅賞以上
測量士・測量士補	測量士補	全国高校生建築製図コンクール課題2又は4	銀賞以上
インテリア設計士	2級	高校生ものづくりコンテスト	優秀以上
建築CAD検定	2級	日本工業大学建築設計競技	2・3等以上
トレース技能検定	1級	日本大学全国高等学校・建築設計競技	優秀賞以上

総合型選抜Ⅲ期/V期/Ⅵ期入賞格取得型V

資格・検定等の名称	等級ほか	資格・検定等の名称	等級ほか
全国高等学校デザイン選手権大会	2・3位以上	日本語検定	準1級以上
高校生住宅設計コンクール	優秀以上	宅地建物取引士	合格
建築系高校生対象コンペティション	優秀以上	エコデンレース	バッテリー入賞 充電池優勝以上
3D-CADプロダクトデザインコンテスト	最優秀	Hondaエコマイレージ全国大会(会場:茂木)	入賞以上
高校生の「建築甲子園」	準優勝以上	大学等が実施した各種コンテスト・競技大会等	最優秀
日本学生科学賞	1等以上	中高生国際Rubyプログラミングコンテスト	最優秀
全日本学生児童発明くふう展	奨励賞以上	スターリングテクノロジー	入賞以上
パテントコンテスト	特許出願支援対象者以上	日本情報オリンピック	優秀賞以上
デザインパテントコンテスト	意匠登録出願支援対象者以上	高校生科学技術チャレンジ(JSEC)	各種入賞以上
エネルギー利用技術作品コンテスト	大臣賞	大学等が実施した各種ポスターコンクール・競技会・コンペ等	最優秀以上
全国高等学校インテリアデザイン展	2・3位以上	愛鳥週間用ポスター原画コンクール	最優秀以上
明るい選挙啓発ポスター	全国最優秀以上	全国高校生ポスターコンクール	最優秀以上
Microsoft office Specialist Word	上級	全国高校野球選手権ポスター原画コンクール	最優秀以上
Microsoft office Specialist Excel	上級	トンボ 絵画コンクール	最優秀以上
Microsoft office Specialist PowerPoint	一般(共通)	高校環境化学賞	全国入賞
日本語ワープロ検定	初段	全日本高校デザイン・イラスト展	大臣賞
文章入カスビード認定試験 日本情報処理検定協会	特段・初段・1級	パソコン甲子園(いちまいの絵CG部門)	優秀賞
情報処理技能検定(表計算)	初段	高校生国際美術展(美術)	大臣賞・知事賞・会長賞・新聞社賞
DTP検定	2種	国・地方・大学・専門学校等が実地している美術・工芸関連のコンテスト等	入賞以上等
CGエンジニア検定	エキスパート	全国高等学校総合文化祭(美術・工芸)	出品者
CGクリエイター検定	エキスパート	毎日・DAS学生デザイン賞	入賞以上
マルチメディア検定	エキスパート	ケンブリッジ英語検定	140以上
Webデザイナー検定	エキスパート	実用英語技能検定	1950以上
POP広告クリエイター技能審査試験	合格	GTEC	930以上
ホームページ作成検定	1級	IELTS	4.0以上
プレゼンテーション作成検定	1級	TEAP	225以上
ICTプロフィシエンシー検定試験(P検)	2級以上	TEAP CBT	420以上
デジタル技術検定(情報部門)	1級	TOEFL iBT	42以上
デジタル技術検定(制御部門)	1級	TOEIC L&R TOEIC S&W	790以上
情報検定(J検)情報活用試験	1級		
2次元CAD利用技術者	1級		
3次元CAD利用技術者	1級		

総合型選抜Ⅲ期/V期/Ⅵ期入賞格取得型V

◆総合型選抜Ⅳ期／一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>

募集人員・出願資格・提出書類

6～9ページを参照してください。

※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

35,000円

入学試験日程・時間割

区分	出願期間(WEB) および検定料支払	出願書類郵送締切 ※1	試験日 ※2	合格発表	入学手続き期間
総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>	10/4(金) 00:00 } 10/17(木) 23:59	検定料支払後 } 10/18(金) 当日消印有効	11/3(日)	11/8(金)	合格発表 } 入学金 11/22(金) 当日消印有効 学費等 12/6(金) 当日消印有効
一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	1/6(月) 00:00 } 1/16(木) 23:59	検定料支払後 } 1/17(金) 当日消印有効	2/8(土)	2/14(金)	合格発表 } 入学金 2/21(金) 当日消印有効 学費等 2/28(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。

インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを試験当日にご持参ください。

総合型選抜Ⅳ期：11/3(日)		一般選抜Ⅰ期：2/8(土)	
【午前】	【午後】	【午前】	【午後】
鉛筆デッサン 集合時間 9:10 試験時間 9:30～12:30	イメージ表現 集合時間 13:40 試験時間 14:00～17:00	鉛筆デッサン 集合時間 9:10 試験時間 9:30～12:30	イメージ表現 集合時間 13:40 試験時間 14:00～17:00
or	or	or	or
小論文 集合時間 10:10 試験時間 10:30～12:30	基礎学力試験 集合時間 13:40 試験時間 14:00～15:30	小論文 集合時間 10:10 試験時間 10:30～12:30	学力試験 集合時間 13:40 試験時間 14:00～15:30

※各科目の詳細は、27ページを参照してください。

選考・配点



試験科目・持参物

【全学科共通】

科目	時間	配点	詳細	持参物
鉛筆デッサン	180分	190点	与えられたモチーフを各自構図を考えてレイアウトし、形や質感を正確に鉛筆で描写するもの。B3サイズ画用紙を使用し、イーゼルは使用しない。	●受験票 ●鉛筆デッサン用具一式(電動不可) [鉛筆、消しゴム(ねり消し含む)、 羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、 鉛筆削り用具、はかり棒、擦筆、 デッサンスケール、 ティッシュペーパー及びガーゼ] ●カルトン(B3版程度) ●クリップ
小論文	120分	190点	出題テーマに基づき提示された資料の特徴や要旨をまとめたり、自分の意見を述べるもの。資料は文章に限らず写真などの視覚資料の場合もある。	●受験票 ●鉛筆又はシャープペンシル ●消しゴム(電動不可) ●鉛筆削り(電動不可)
イメージ表現	180分	190点	与えられたテーマ(ことば)から自由にイメージを発想し、色彩表現するもの。	●受験票 ●色彩用具一式 [ポスターカラーなどの水性絵の具、色鉛筆] ●カルトン(B3版程度) ●鉛筆又はシャープペンシル ●消しゴム(電動不可) ●鉛筆削り(電動不可)
基礎学力試験 学力試験	90分	190点	マークセンス方式(鉛筆で記入したマークをコンピュータが直接読み取って採点する方法)で実施。解答はHBの黒鉛筆で速くマークすること。他の筆記用具(万年筆、ボールペン、サインペン、シャープペンシル等)は使用不可。消しゴムは、必ずプラスチック製を使用すること。出題範囲…【英語:英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII】【数学:数学I、数学II、数学A】【国語:現代の国語、言語文化】。受験科目は試験当日1科目選択。科目間で平均点に著しく差が生じた場合は得点調整を行う場合あり。	●受験票 ●鉛筆(HB)※シャープペンシル不可 ●消しゴム(電動不可) ●鉛筆削り(電動不可) ※シャープペンシルではマークを読み取れない場合があるので、必ず鉛筆を使用してください。
調査書	-	10点	調査書の「全体の学習成績の状況」を基に、満点の5%となるよう換算し点数化。調査書に代わる書類を提出する受験生はその値を一律に「3.5」とみなし換算。	-

POINT 総合型選抜Ⅳ期／一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>

- 成績優秀者を対象とした特待生制度あり！
500,000円を奨学金として給付
- 1科目から受験可能！
得意な科目を選択してください
- 出身学校長の推薦書は不要！

出願について

- 午前と午後から1科目ずつ最大2科目選択できます。1科目の受験も可能です。
- 2学科まで併願が可能です。1科目の受験でも2学科まで選択できます。
- 同一の区分内であれば、1回の入学検定料35,000円(再受験の場合は5,000円)で併願できます(36ページ参照)。
- 各科目ごとに可否判定をおこないます。
- 2科目受験する場合は、最も高い得点の科目が可否判定の対象となります。
- 複数の学科で合格基準を満たしていた場合、志望順位が上位の学科のみ合格を通知します。

◆一般選抜Ⅱ期／Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>

募集人員・出願資格・提出書類

6～9ページを参照してください。

※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

検定料

10,000円

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日	合格発表※2	入学手続き期間
一般選抜Ⅱ期 <大学入学 共通テスト利用型>	1/20(月) 00:00 } 1/30(木) 23:59	検定料支払後 } 1/31(金) 当日消印有効	※本学での 独自の試験は おこないません。	2/14(金)	合格発表 } 入学金 2/21(金) 当日消印有効 } 学費等 2/28(金) 当日消印有効
一般選抜Ⅲ期 <大学入学 共通テスト利用型>	2/3(月) 00:00 } 2/13(木) 23:59	検定料支払後 } 2/14(金) 当日消印有効		3/7(金)	合格発表 } 3/14(金) 当日消印有効

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必要とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

※2 出願受付票は合格発表の2日前までに一斉配信します(郵送はいたしません)。

インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、お手元に保管ください。

選考・配点



教科・科目数/得点換算

「令和7年度大学入学共通テスト」の下記教科・科目から受験する科目を3教科3科目以上受験してください。最高得点の1教科1科目を190点満点に換算し、合否判定に使用します。3教科3科目以上受験していない場合は、共通テストの得点を無効とします。

教科	グループ	出題科目
国語 ※1		『国語』
地理歴史 公民 ※2		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』
		『地理総合/歴史総合/公共』
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』
理科 ※3		『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』
外国語 ※4		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』
情報		『情報Ⅰ』

(備考)『地理総合/歴史総合/公共』や『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』における「/」は、一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。

※1・・・国語については、「近代以降(3問110点)」と「古典(2問90点)」※古文・漢文各45点に分け、得点の高い方で評価します。

※2・・・地理歴史・公民の同一教科内の2科目選択者については、それぞれ第1解答科目を合否判定に使用します。

※3・・・理科の同一教科内の2科目選択者については、第1解答科目を合否判定に使用します。

※4・・・外国語における「英語」は、リーディング(100点)とリスニング(100点)の合計(200点)を、190点満点に換算します。

リーディングとリスニングは必ず両方とも受験してください。

POINT

- 成績優秀者を対象とした特待生制度あり！
 - 複数の学科の併願が可能！
 - 本学での独自の試験なし！
- 500,000円を奨学金として給付 最大4併願まで出願可能

◆留学生選抜Ⅰ期／Ⅱ期

募集人員

若干名

出願資格・提出書類

6～9ページを参照してください。

検定料

35,000円

持参物

受験票、作品(詳細は34ページを参照)

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日※2	合格発表	入学手続き期間
留学生選抜Ⅰ期	10/4(金) 00:00 } 10/17(木) 23:59	検定料支払後 } 10/18(金) 当日消印有効	11/23(土) 集合時間 13:40 面接開始 14:00 11/24(日) 集合時間 9:10 面接開始 9:30 ※3	12/1(日)	合格発表 } 入学金 12/13(金) 当日消印有効 } 学費等 1/6(月) 当日消印有効
留学生選抜Ⅱ期	1/6(月) 00:00 } 1/16(木) 23:59	検定料支払後 } 1/17(金) 当日消印有効	3/1(土) 集合時間 13:40 面接開始 14:00 ※4	3/7(金)	合格発表 } 3/14(金) 当日消印有効

◆学科間の併願はできません。

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必要とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。

なお、留学生選抜Ⅱ期における出願は国内在住者に限りります。

※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。

インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを試験当日にご持参ください。

※3 出願者数により、集合・面接時間は変更する場合があります。その際は別途通知します。

なお、試験日は選択することができず、大学が指定する日に受験していただきます。日時は2日前までに配信する受験票でご確認ください。

※4 出願者数により、集合・面接時間は変更する場合があります。その際は別途通知します。

選考・配点

志望理由書+持参作品+面接
(総合評価)
200点満点

◆編・転入学選抜Ⅰ期／Ⅱ期

募集学科・コース

1ページを参照してください。

募集人員

若干名

出願資格

■2年次希望

- ◆次のいずれかに該当する者。
 - ①4年制大学または短期大学を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ②高等専門学校を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ③専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ④高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ⑤4年制大学または短期大学に1学年以上在学し(休学期間を除く)、30単位以上を修得した者(※1)。
 - ⑥本学が、①～⑤の表記内容と同等以上の学力があると認めた者(※2)。
- ※1…30単位を修得できなかった者は、入学資格を取り消します。
- ※2…出願資格⑥で受験を希望される方は、出願開始の2ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

■共通

外国籍の方は、上記に加えて、出願時点で、公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する日本語能力試験(JLPT)における「N2」以上の資格保有者、もしくは独立行政法人日本学生支援機構が主催する日本留学試験(EJU)「日本語」における「読解」「聴解・聴読解」の合計が「220点以上」の者。
 ※ただし、Ⅱ期については、出願時に有効な中期在留資格を有し、日本国内に在住している者に限ります。
 ※国費留学生で上記の日本語能力に該当しない場合は、出願開始の1ヶ月前までに広報入試課へ相談してください。
 ※卒業・修了見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2025年3月31日までに卒業・修了しなかった場合は、入学資格を取り消します。
 ※入学に際して必要な在留資格を取得することができない場合は、入学資格を取り消します。

■3年次希望

- ◆次のいずれかに該当する者。
 - ①4年制大学または短期大学を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ②高等専門学校を卒業した者、または2025年3月に卒業見込みの者。
 - ③専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ④高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る)。
 - ⑤4年制大学または短期大学に2学年以上在学し(休学期間を除く)、62単位以上を修得した者(※1)。
 - ⑥本学が、①～⑤の表記内容と同等以上の学力があると認めた者(※2)。
- ※1…62単位を修得できなかった者は、入学資格を取り消します。
- ※2…出願資格⑥で受験を希望される方は、出願開始の2ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

入学年次

編・転入学年次は2年次または3年次です。選択年次により募集学科が異なりますので1～3ページをご確認ください。
 入学後の単位認定:出身学校で修得した単位を、3年次入学は62単位、2年次入学は31単位程度を上限に認定します。
 ※教職課程を履修する場合、最短の修業年限で免許取得に必要な所定科目等をすべて履修することができず、卒業と同時に教員免許状を取得できない場合があります。
 ※博物館学芸員課程を履修する場合、最短の修業年限で資格取得に必要な所定科目等をすべて履修することができず、卒業と同時に学芸員資格を取得できない場合があります。

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日※2	合格発表	入学手続き期間
編・転入学選抜Ⅰ期	10/4(金) 00:00 10/17(木) 23:59	検定料支払後 10/18(金) 当日消印有効	11/23(土) 集合時間 13:40 面接開始 14:00 ※3	12/1(日)	合格発表 入学金 12/13(金) 当日消印有効 学費等 1/6(月) 当日消印有効
編・転入学選抜Ⅱ期	1/6(月) 00:00 1/16(木) 23:59	検定料支払後 1/17(金) 当日消印有効	3/1(土) 集合時間 9:40 面接開始 10:00 ※3	3/7(金)	合格発表 3/14(金) 当日消印有効

- ◆学科間の併願はできません。ただし、3年次希望の映像表現学科 映画コースとアニメーションコースについては、コース間の併願が可能です。
- ※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのご注意ください。
- ※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを試験当日にご持参ください。
- ※3 出願者数により、集合・面接時間は変更する場合があります。その際は別途通知します。

検定料

35,000円

持参物

受験票、作品
(詳細は34～35ページを参照)

選考・配点

志望理由書+持参作品+面接
(総合評価)
200点満点

提出書類

※出願の流れの詳細は、10～13ページを参照してください。

各入試区分の出願書類郵送締切日までに簡易書留速達郵便にて郵送してください(締切日消印有効)。
 ただし、国外から出願の場合は、出願書類郵送締切日までに必着とします。
 本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「入試情報」のページ(<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>)からダウンロードしてください。
 ※書類は特に指定がない限り原本を提出してください。
 ※必要に応じて下記以外の書類の提出を求める場合があります。

	インターネット 志願票	履歴書 (本学所定様式)	志望理由書 (本学所定様式)	卒業(見込) 証明書または 修了(見込) 証明書	在学証明書 または 在籍証明書	成績証明書	現在履修中の 科目の 単位証明書	シラバス または 講義概要	本人であることを 証明する書類 および 日本語能力に ついての書類
出願資格 ①	●	●	●	●	○ 在学生のみ	●	○ 在学生のみ	●	○ 外国籍の方のみ
出願資格 ②～④	●	●	●	●	○ 在学生のみ	●	○ 在学生のみ	●	○ 外国籍の方のみ
出願資格 ⑤	●	●	●	○ 発行可能な 場合のみ	●	●	○ 在学生のみ	●	○ 外国籍の方のみ

▶ インターネット志願票

▶ 履歴書〈本学所定様式〉

外国籍の方はすべての項目を記入してください。

▶ 志望理由書〈本学所定様式〉

▶ 卒業(見込)証明書または修了(見込)証明書

在学証明書または在籍証明書

出身校の学校長が作成したものを提出してください。

▶ 成績証明書

出身校の学校長が作成したものを提出してください。

▶ 現在履修中の科目の単位証明書(在学生のみ)

在学中の者は現年次で履修中の科目、単位を証明する書類を提出してください。上記②と③が1枚になっているものは、そのまま提出してください。

▶ シラバスまたは講義概要

上記②と③に記載されている科目すべての、修得単位数や到達目標、授業内容、そして授業時間数(または単位に対する授業時間の説明文)がわかる書類
 ※出身学校のウェブサイトや、発行する冊子物等に掲載されている該当科目のページと出身学校名がわかるページをコピーまたは印刷し、②と③で記載順どおりに並べて提出してください。コピーまたは印刷する用紙のサイズはA4判に統一してください。

※日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語の翻訳を添えて提出してください。

【上記②～③の証明書について】

日本語または英語で記載された証明書を提出してください。日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語に訳し、大使館・領事館・公証人などの公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)において、原本と原本の内容に相違ないことの証明を受けた上で、原本と翻訳の両方を提出してください。また、すべての書類には公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)の公印を必要とします。※詳細は9ページ「証明書の翻訳について」をご確認ください。

※複数の学校に在籍していた場合は、必ず出願開始1ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

外国籍の方は上記に加えて、下記書類を提出してください。

●本人であることを証明する書類

- 全員……………パスポートのコピー(氏名及び顔写真が記載されたページの見開きコピー)
- 日本国内在住者……………パスポートのコピーに加えて、在留カードまたは外国人登録証明書の両面コピー
- ※必要に応じて上記以外の書類の提出を求める場合があります。

●日本語能力についての証明書

次のいずれか、または両方

- 日本語能力試験(JLPT)……………合格結果通知書、日本語能力認定書、認定結果および成績に関する証明書のいずれか ※コピー可
- 日本留学試験(EJU)……………成績通知書、成績証明書、成績確認書のいずれか ※コピー可

※成績確認書(コピー可)を提出する場合は、対象となる日本留学試験を右記のとおりとします。成績通知書または成績証明書(コピー可)を提出する場合は、日本留学試験の実施年度や実施回は問いません。

入試区分	対象となる日本留学試験
総合型選抜Ⅰ期 <中日程枠枠>	2022年度 第2回(11月実施)
総合型選抜Ⅰ期 <中日程枠枠>	2023年度 第1回(6月実施)
総合型選抜Ⅰ期 <中日程枠枠>	2023年度 第2回(11月実施)
留学生選抜Ⅰ期	2024年度 第1回(6月実施)
編・転入学選抜Ⅰ期	
一般選抜Ⅰ期 <科目選別枠>	
一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用枠>	2023年度 第1回(6月実施)
総合型選抜Ⅱ期 <中日程枠枠>	2023年度 第2回(11月実施)
留学生選抜Ⅱ期	2024年度 第1回(6月実施)
編・転入学選抜Ⅱ期	2024年度 第2回(11月実施)

◆ 帰国生 / 社会人選抜

募集人員

若干名

出願資格

■ 帰国生選抜

- 日本の国籍を有する者、あるいは日本に永住する外国人(在留資格が「出入国管理及び難民認定法」別表第2に定める「永住者」他)で、下記の項目のいずれかに該当する者。
- ① 外国における高等学校に1年以上継続して在学し、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を2024年4月1日から2025年3月31日までに卒業(修了)した者、または卒業(修了)見込みの者で、かつ日本の高等学校の在籍期間が2年未満の者。
 - ② 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または2025年3月修了見込みの者。
 - ③ 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCE Aレベル資格のいずれかを有し、資格取得後の経過年数が本学入学(2025年4月1日)時点で1年未満である者。
 - ④ 本学が、上記と同等以上の資格があると認めた者。

■ 社会人選抜

- 2025年4月1日までに満24歳に達する者で、下記の項目のいずれかに該当する者。
- ① 高等学校を卒業した者。
 - ② 通常の課程による、12年の学校教育を修了した者。
 - ③ 高等学校卒業程度認定試験(旧・大学入学資格検定)に合格した者。
 - ④ 本学において、上記①と同等であると認めた者。

■ 共通

卒業・修了・合格見込で入学試験に出願・合格し入学手続きを完了した者が、2025年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は、入学資格を取り消します。
※出願資格④で受験される方は、出願開始の1ヶ月前までに広報入試課までお問い合わせください。

提出書類

※出願の流れの詳細は、10~13ページを参照してください。

各入試区分の出願書類郵送締切日までに簡易書留速達郵便にて郵送してください(締切日消印有効)。ただし、国外から出願の場合は、出願書類郵送締切日までに必ずしとします。本学所定の様式は神戸芸術工科大学ウェブサイト「入試情報」のページ(<https://www.kobe-du.ac.jp/exam/download/>)からダウンロードしてください。※書類は特に指定がない限り原本を提出してください。※必要に応じて下記以外の書類の提出を求める場合があります。

■ 帰国生選抜

- インターネット志願票
 - 履歴書(本学所定様式) ……外国籍の方はすべての項目を記入してください。
 - 志望理由書(本学所定様式)
 - 出身高等学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書 ……④
- 注) 高等学校の卒業証明書(Diploma)ではありません
卒業証明書(Certificate of Graduation)、または卒業見込証明書(Certificate of Expected Graduation)を提出してください。
- 出身高等学校の成績証明書 ……⑤
- 出身高等学校長が作成した、高等学校在学期間の成績証明書を提出してください。
- 上記④及び⑤の証明書について
日本語または英語で記載された証明書を提出してください。日本語または英語以外の言語で記載されている場合、日本語または英語に訳し、大使館・領事館・公証などの公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)において、原本と訳本の内容に相違ないことの証明を受けた上で、原本と翻訳の両方を提出してください。また、すべての書類には公的機関(在学中に限り日本国内所在の日本語学校も可)の公印を必要とします。※詳細は9ページ「証明書の翻訳について」をご確認ください。

■ 社会人選抜

- インターネット志願票
 - 履歴書(本学所定様式) ……外国籍の方はすべての項目を記入してください。
 - 志望理由書(本学所定様式)
 - 出身高等学校の卒業証明書
 - 出身高等学校の成績証明書 ……出身高等学校長が作成した、高等学校在学期間の成績証明書を提出してください。
- ※出願資格④の方は出身高等学校の卒業証明書・成績証明書の代わりに合格証明書を提出してください。

検定料

35,000円

持参物

受験票、作品(詳細は34ページを参照)

入学試験日程

区分	出願期間(WEB)および検定料支払	出願書類郵送締切※1	試験日※2	合格発表	入学手続き期間
帰国生 / 社会人選抜	10/4(金) 00:00 10/17(木) 23:59	検定料支払後 10/18(金) 当日消印有効	11/23(土) 集合時間 13:40 面接開始 14:00 ※3	12/1(日)	合格発表～ 入学金 12/13(金) 当日消印有効 学費等 1/6(月) 当日消印有効

◆学科間の併願はできません。
※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必ずしとします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。
インターネットエントリー / 出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを試験当日にご持参ください。
※3 出願者数により、集合・面接時間は変更する場合があります。その際は別途通知します。

選考・配点

志望理由書+持参作品+面接
(総合評価)
200点満点

受験に関する注意

1. 総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> / 一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>は、試験科目ごとに選考をおこないます。その他の入試区分は学科ごとで選考をおこないます。
2. 受験票(エントリー受付票 / 出願受付票)は各自でダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものをご用意ください。試験の2日前になっても配信の通知が届かない場合は、広報入試課までお問い合わせください。
3. 試験の前日(前日)が日・祝の場合はその前日)は会場内の立入を禁止します。
4. 試験会場の駐車場の使用はできません。可能な限り公共交通機関を利用してください。
※自動車の利用が必要な方は試験日の2日前までに広報入試課までお問い合わせください。
5. 試験当日は必ず受付を済ませてから試験室に入室してください。
※受付を済ませていない場合受験はできません。受付手続きで要した時間は試験時間として延長することはできません。
6. 特に指定がない限り、受付は集合時間の45分前からおこないます。
7. 集合時間までに試験室に入室し、指定の席に着席してください。
8. 試験開始後30分以上遅刻した者には原則として受験を認めません。
9. 試験室には時計がない場合もありますので時計を持参してください。
10. 下記の不正行為、周囲に迷惑のかかる行為等があった場合は退場を命じ、すべての試験を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。また、提出された書類・資料等及び入学検定料は返還しません。
 - ① 出願の際に提出した書類・資料、提供した情報、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入等を行うこと。
 - ② カンニング(試験教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)を行うこと。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けを行うこと。
 - ④ 配布された問題用紙(冊子)をその試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 解答開始時刻(監督者の指示)の前に、問題用紙(冊子)を開いたり解答を始めること。
 - ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類・各試験で使用を許可されたもの以外の物を使用すること。
 - ⑧ 解答終了時刻(監督者の指示)後も「終了」の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けること。
 - ⑨ 試験時間中に私語、用具の貸し借り、許可なく自席を離れること。
11. 受験票を忘れたり紛失した場合は、速やかに受付に申し出て仮受験票の発行を受けてください。
12. 服装は自由です(試験結果には一切関係ありません)。
13. 食堂及び購売部は営業しません。昼食が必要な場合は持参し、指定された座席で食事をとってください。
14. 試験当日、学外(敷地外)でおこなわれている営業やサービスの案内は、本学とは一切関係ありません。
15. 採点は指定された解答用紙に記載された内容のみを対象とします。解答用紙に記載がない場合は白紙解答とみなします。
16. 試験当日は、受験生及び教職員以外は構内立ち入り禁止とします。付添者控室の設定はありません。
17. やむを得ず試験日時や選抜方法などを変更する場合があります。神戸芸術工科大学ウェブサイトにて最新情報を確認してください。

受験に関する注意

持参作品等について

●対象入試:全入試区分(ただし、編・転入学選抜における3年次希望を除く)

全学科共通 デジタル作品や映像作品を持参する場合は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの再生装置に記録して持参してください。再生装置やバッテリー、インターネット回線の貸出はおこないません。映像作品を持参する場合は、限られた時間内に提示できるようにしてください。

建築・環境デザイン学科 建築・環境デザイン分野への適性を判断する材料としますので、自ら制作の意図や制作過程における工夫などを説明できる作品や、建築・環境デザイン分野への学習意欲をアピールするための資料を持参してください。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・学校の授業で取り組んだデッサンや立体造形などの作品
- ・クラブ活動や地域行事などで取り組んだことの成果品や、活動の記録をまとめた資料
- ・自宅学習で制作したイラストや模型などの作品・地域の行事などへの参加体験をまとめた記録
- ・興味を持ったインテリア、建物、街並みについて、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

生産・工芸デザイン学科 プロダクトデザイン、ファッション・テキスタイル、クラフト分野に関するものを必ず実物3点以上持参してください。作品は、デッサン、絵画、イラスト、デザイン案、図面、模型、彫刻、フィギュア、陶芸、ガラス、金工、写真、自作の衣服やアクセサリなどのファッションアイテム等、「受験生本人が制作した実物」です。他に、参考資料として作品の写真をまとめた「作品ファイル」、文化イベント(文化祭や展覧会など)の企画運営に参加した人は、その「資料ファイル」なども可とします。

ビジュアルデザイン学科 デッサン、絵画(油絵、水彩画等)、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5~10点を目安に持参してください。(デッサンなど、持ち運べる大きさの手書き作品は、現物を持参していただく方が望ましいです)

メディア芸術学科 過去3年以内の作品を持参してください。絵画、イラスト、まんが、映像、立体物等、作品の種類は問いません。自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を現物、あるいはポートフォリオにまとめたものを持参してください。パソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。写真作品、コマ撮りアニメ、コンピューターアニメーション、実写映像などについては絵コンテなどの中間成果物、デジタル作品に関しては中間データを確認できる形で持参してください。また、自作フィギュア、学校行事に関する創作物などの立体作品や、未完成の絵画、イラスト、まんが作品など、その他何でも構いません。絵を描く受験生は、自由に絵やイラストを描いている「落書きノート」や「スケッチブック」(「40ページ以上のノートやスケッチブック、クロッキー帳」または「40ページ(20ポケット)以上のクリアブックにまとめたポートフォリオ」)を必ず持参してください。「スケッチブック」「落書きノート」を見たいのは入試では見られないみなさんの可能性を探すためです。恥ずかしくないで、これは入試向きかそうでないかなどと自分で判断せず、日頃描いている「落書き」をなるべくたくさん持ってきてください。またデッサンのみを持参作品とすることは避けるようにしてください。

※持参作品およびPR資料の一部を参考例として選んだものであり、必ずしも、これらの内容に限定するものではありません。

●対象入試:編・転入学選抜における3年次希望

全学科共通 デジタル作品や映像作品を持参する場合は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどの再生装置に記録して持参してください。再生装置やバッテリー、インターネット回線の貸出はおこないません。映像作品を持参する場合は、限られた時間内に提示できるようにしてください。

環境デザイン学科 環境デザイン分野への適性を判断する材料としますので、自ら制作の意図や制作過程における工夫などを説明できる作品や、環境デザイン分野への学習意欲をアピールするための資料を持参してください。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・学校の授業で取り組んだデッサンや立体造形などの作品
- ・クラブ活動で取り組んだことの成果品や、活動の記録をまとめた資料
- ・自宅学習で制作したイラストや模型などの作品
- ・地域の行事などへの参加体験をまとめた記録
- ・興味を持った建物や風景について、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

プロダクト・インテリアデザイン学科 下記を複数点持参してください。

- ・美術の授業や実習で取り組んだデッサン、絵画、デザイン案、図面、立体作品、模型(写真)など
- ・総合学習や科目学習(歴史・地理・生物・化学など)、クラブ活動で取り組んだ個人あるいはグループ課題の提出物
- ・体育祭や文化祭で制作したスタッフグッズ、パンフレット、チラシなど
- ・自主的に取り組んだ分野での成果品や活動記録(趣味、ボランティア活動など)

ビジュアルデザイン学科 デッサン、絵画(油絵、水彩画等)、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するものを5~10点を目安に持参してください。(デッサンなど、持ち運べる大きさの手書き作品は、現物を持参していただく方が望ましいです)

映像表現学科

- ◆デジタルクリエーションコース
過去3年以内の作品を3点以上持参してください。絵画、イラスト、映像、立体物等、作品の種類は問いませんが作品として完成されているもの。文化祭等、一定規模の活動記録も認める場合があります。3点以上含まれていればポートフォリオにまとめたものやパソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。
- ◆映画コース
自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。作品や取り組みの範囲は限定しません。
- ◆アニメーションコース
2Dアニメーションを学びたいとPRできる過去3年以内の作品(主として「キャラクター」「模写」「デッサン」「透視(空間)図」など)をまとめた「40ページ以上のノートやスケッチブック、クロッキー帳」または「40ページ(20ポケット)以上のクリアブックにまとめたポートフォリオ」を1冊以上必ず持参してください。静物デッサンのみは不可。落書きでも構いませんので、アップや全身など、できるだけ多様な絵が含まれていることが望ましいです。<具体例: デッサン(人物・動物・メカニック・静物など)、絵画、イラストレーション、キャラクターデザイン、風景スケッチ、漫画、ラフ画など>
また、自分の個性や得意な事柄をアピールする追加的な資料として、下記もあれば持参してください。
- ・学校行事に関するポスターなどの作品、クラブ活動の刊行物などの絵画作品など
- ・写真作品、コマ撮りアニメ、コンピューターアニメーション、実写映像などの映像作品と作品に係る絵コンテなどの中間成果物
- ・自作フィギュア、学校行事に関する創作物などの立体作品
- ・資格証明書、クラブ活動などの業績を示す賞状、ボランティア活動記録など

ファッションデザイン学科 スタイル画、自作の衣服やアクセサリなどのファッションアイテム、スタイリング集、イメージカラーージュ、鉛筆デッサン、イメージ表現、イラスト、写真など、学校の授業、各種習い事、自宅で制作した成果物。映像などのデジタル作品は出力するかパソコン等の再生装置を持参してください。文化祭、クラブ、ボランティアの活動資料をまとめたファイルなども可とします。

アート・クラフト学科 持参作品は、試験当日に試験会場に持ってくる作品です。必ず実物の作品を3点以上持参してください。作品は、絵画、デッサン、イラスト、彫刻、フィギュア、陶芸、ガラス、金工、デザイン、写真など「受験生本人が制作した実物」です。他に、参考資料として、作品の写真をまとめた「作品ファイル」や、文化祭や展覧会など、文化イベントの企画運営に参加した人は、その「資料ファイル」なども可とします。

※持参作品およびPR資料の一部を参考例として選んだものであり、必ずしも、これらの内容に限定するものではありません。

その他

個別の入学資格審査

出願資格について、学校教育法施行規則第150条第7号により出願をしようとする場合は、個別の入学資格審査を受ける必要がありますので、各入学試験の出願開始の1ヶ月前までに広報入試課まで申し出てください。審査に必要な書類等については個別に指示します。

※朝鮮高級学校の出身者の方は、本学への出願に当該申請は不要としますが、大学入学共通テストへの出願に際し本学の入学資格認定書が必要な場合は、審査を省略のうえ認定書を交付します。認定書交付を希望する場合は大学入学共通テストの出願開始の2週間前までに広報入試課まで申し出てください。

特別配慮を必要とする方へ

障がい等のある方で、受験の際、特別な配慮を必要とされる場合は、必ず出願開始の1ヶ月前までに広報入試課までご相談ください。

- (配慮の事例)
- ・質問の内容や抽象的な表現が伝わっていない場合は、表現を変えて説明する。
 - ・入退室がしやすい座席を確保し、座席までの動線(段差、ドアの開閉等)を確保する。
 - ・聴覚障がい、言語障がい、発達障がい等の障がいがあり、音声のみによる説明(試験開始終了の合図等)に支障がある場合、必要に応じて説明内容を書面で提示する。

成績開示について

本学では、入学者選抜及びスカラシップ試験の結果について、受験生本人の成績開示請求に基づき、評点と合格(認定)最低点を開示します。詳細及び申請については以下URLをご参照ください。

https://www.kobe-du.ac.jp/exam/grade_disclosure_request/

記録写真の撮影/入試作品について

入学者選抜の際、記録写真を撮影する場合があります。記録写真や入試作品は、展示または入試資料への掲載をすることがあります。あらかじめご了承ください。

個人情報の取扱いについて

エントリー/出願の際に提出された住所・氏名・その他の個人情報は、個人情報保護法に基づき、適切な管理を行い、入学者選抜、合否発表、入学手続及びこれらに付随する事項、各種統計処理・分析を行うために利用します。上記業務を遂行するにあたり、機密保持契約を締結した業務委託業者に対して、業務に必要となる範囲で、提出された個人情報の全部または一部を提供することがあります。その場合、委託先に対し、安全かつ適切な管理を行うよう、本学が監督します。また、個人が特定されないように統計処理した個人情報のデータは、本学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用するほか、進学希望者等への情報公開に使用します。あらかじめご了承ください。

感染症による試験当日の欠席について

本学入学者選抜において、学校保健安全法(学校保健安全法施行令、学校保健安全法施行規則を含む)で出席停止が求められている感染症に罹患し、治癒していない受験生は、他の受験生に感染のおそれがあるため受験できません。その場合は納入済の入学検定料全額を返還します。詳細及び申請については以下URLをご参照ください。

https://www.kobe-du.ac.jp/exam/fee_refund/

入学検定料

- 入学検定料 35,000円
 - 一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>の入学検定料 10,000円
 - 再受験時の入学検定料 5,000円
- 一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>と他の区分の間には、再受験の入学検定料特例はありません。
- 【同一区分内の学科・コース併願の入学検定料の特例】
- 2学科目以降の入学検定料 0円

※再受験とは、一度本学の2025年度入学試験の結果を受けた受験生が、当該年度に別の区分で再度受験することを指します。

例 併願【同一区分内】

総合型選抜Ⅲ期 <作品持参型> ▶ビジュアルデザイン学科とメディア芸術学科を受験する場合。
→ 入学検定料 35,000円 + 0円

例 再受験

【総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> + 一般選抜Ⅰ期 <科目選択型> + 同一区分内併願】
▶総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>で午前の試験に小論文を選択し、ビジュアルデザイン学科を受験された方が、再度一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>で午前の試験に小論文、午後の試験に学力試験を選択し、ビジュアルデザイン学科と生産・工芸デザイン学科の2学科を受験する場合。
→ 入学検定料 35,000円 + 5,000円 + 0円

【一般選抜Ⅰ期 <科目選択型> + 同一区分内併願 + 一般選抜Ⅱ期 <大学入学共通テスト利用型>】
▶一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>で午前の試験に小論文、イメーン表現を選択し、建築・環境デザイン学科とビジュアルデザイン学科の2学科を受験された方が、一般選抜Ⅱ期 <大学入学共通テスト利用型>でビジュアルデザイン学科を受験する場合。
→ 入学検定料 35,000円 + 0円 + 10,000円

合否等

1. 合否は郵送のみで本人宛に通知します(郵便事情により遅れることがあります)。電話等による問い合わせには一切応じられません。また、学内・ウェブサイトでの掲示もおこないません。
2. 同一入試区分で複数科目受験する場合は、最も得点の高い科目が合否判定の対象となります。
3. 複数の学科で合格基準を満たしていた場合、志望順位が上位の学科のみ合格を通知します。ただし、総合型選抜Ⅰ期 <体験型>と総合型選抜Ⅱ期 <面談型>は複数の学科で「出願認定」が出る場合があり、志望順位に関わらず学科を選択できます。

入学手続き

1. 複数の学科で合格基準を満たしていた場合は、合格通知書に記載の学科に入学手続きをしていただきます。
2. 合格発表後、入学手続き期間内に入学金・学費を納入し、必要書類(合格発表の際に案内)を提出してください。期間内に手続きを完了しない者は入学資格を取り消します。

入学金・学費等

(単位:円)

種別	前期 (入学手続き時納入額)	後期 (入学後10月納入額)	年間
入学金(入学時のみ)	200,000	—	200,000
学費	授業料	525,000	1,050,000
	教育充実費	275,000	550,000
計	1,000,000	800,000	1,800,000

※その他の納入金 教育後援会費 40,000円(在学期間分)
学生フォーラム会費 20,000円(在学期間分)
同窓会組織KDU-Net入会費 10,000円

※次年度以降の納入金は、入学金を除く学費(授業料・教育充実費)です。
※各学科によって異なりますが、教材費・実習費が必要となります。詳細は42ページ「初年度に必要な機材・用具」をご参照ください。

入学金の返還

入学生が本学大学院・学部卒業生の子女または兄弟姉妹、在学生の兄弟姉妹の場合は、当該入学生の入学金を入学後に返還します。兄弟姉妹が同時に入学する場合は、入学金の徴収は1名のみとし、余剰分を入学後に返還します。兄弟姉妹に申請を要します。

入学前教育

本学では、広い教養、専門的知識、能力、技術とコミュニケーション力を備えたデザイナー、アーティスト、クリエイターの養成を修学の目的としています。そのため、入学予定者のみなさんには、入学までに、大学での学びの準備を整え、理解を深め、そして入学後スムーズに修学を進められるよう、入学前教育を受講していただきます。内容は「学科別課題」と「全学科共通課題」を柱とし、自宅学習プログラムと登校プログラムでの展開を予定しています。具体的な課題等は、各入試日程の入学手続き完了後(一部入試は合格発表後)に順次ご案内します。

2024年度入学生の一例

	自宅学習プログラム	登校プログラム
学科別課題	・推薦図書や映画映像の読書/鑑賞レポートの作成 ・デッサン、スケッチ ・フィールドリサーチ	・卒業見学 ※希望者のみ
全学科共通課題	・日本語力、英語カテスト	・デッサン/クロッキー教室 ・コンピュータ教室 ※希望者のみ

※合格した入試区分、学科により内容が異なります。
※プログラム内容は変更することがあります。

入学辞退

入学手続き完了後に入学辞退を表明し、入学金以外の納付金の返還を希望される場合は、速やかに入学辞退届・納付金返還願(入学手続き書類に添付)に必要な事項を記入の上、入学手続き完了通知書(すでに受領済みの方のみ)及び通帳の写等、口座情報を確認できるものと一緒に、必ず2025年3月31日(月)までに到着するよう、簡易書留速達郵便で提出してください(必着)。期日を過ぎて提出された入学辞退届・納付金返還願に対しては、受理しかねますので納付金の返還はできません。
※納付金の返還については、上記書類を受理してから処理するまで3週間程度かかります。

Q&A

Q 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉は併願できますか？

A できます。2日間ある体験プログラムは1日で行われ、各学科の体験プログラムは2日間と同じ内容となります。最大2学科まで併願が可能です。その場合は、学科ごとに自己PR書が必要となります。志望する学科が1学科の場合は、土日のどちらか1日の参加、志望する学科が2学科の場合は、土日の2日間の参加となります。なお、エントリーの段階で体験プログラム参加を選択することはできません。各学科の体験プログラム参加日は、プログラム実施の2日前までに配信するエントリー受付票を確認してください。2学科で出願認定が出た場合は、どちらか希望する学科のみ出願手続きを行ってください。なお、出願手続き後は、学科の変更はできません。

Q 総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉の両方にエントリーすることはできますか？

A できます。総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉で同じ学科にエントリーすることも可能です、異なる学科にエントリーすることも可能です。その場合、総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉で2学科、総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉で1学科のエントリーが可能です。ただし、総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉の両方にエントリーする場合、入試区分(総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉で併願する場合は学科)ごとに提出書類が必要となります。また、総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉でそれぞれ出願認定が出た場合は、どちらか希望する学科のみ出願手続きを行ってください。なお、出願手続き後は、学科の変更はできません。

Q 一度不合格(否認)となった場合、他の入試区分に出願はできますか？

A できます。過去の認定可否・合否の結果が、他の入試区分の合否判定に影響することはありません。

Q 同じ日におこなわれる複数の入試区分に出願することはできますか？(例:総合型選抜Ⅱ期〈作品持参型〉と資格取得型、総合型選抜Ⅰ期〈作品持参型〉と留学生選抜Ⅰ期)

A できません。異なる日におこなわれる複数の選抜方法には出願することが可能です。

Q 学科間併願はできますか？

A できます。一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期〈大学入学共通テスト利用型〉は最大4併願まで、その他入試区分では最大2併願まで可能です。ただし、総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉、留学生選抜Ⅰ期/Ⅱ期、帰国生/社会人選抜、編・転入学選抜Ⅰ期/Ⅱ期は、学科間併願はできません。

Q 複数の入試区分にエントリー/出願する場合、自己PR書・志望理由書・調査書などの提出書類はそのたびに必要ですか？

A 調査書については入試区分ごとに1通必要です。自己PR書・志望理由書については入試区分(入試区分内で併願する場合は学科)ごとに必要です。提出書類は簡易書留速達郵便で提出してください。

Q 総合型選抜Ⅳ期〈科目選択型〉/一般選抜Ⅰ期〈科目選択型〉で受験する場合は午前、午後の2科目を受験した方が有利ですか？

A 有利不利はありませんが、科目ごとに別々に評価をしますので、2科目を受験した方が合格する可能性は広がります。また、一方の科目の点数が悪かったらとて、もう一方の科目への影響はありません。合否の判定は得点の高い科目を採用します。

Q 他大学との併願はできますか？

A できます。ただし、総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉と総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉は、エントリーの段階では他大学との併願はできませんが、出願認定が出た後手続きに進む場合は専願となります。また、学校推薦型選抜指定校推薦/系列校推薦、指定校推薦編入学選抜は専願のため併願できません。

Q 携帯電話やウェアラブル端末を時計として使用することができますか？

A できません。試験室入室後は電源を切ったかばんの中に入れていただきます。試験室に時計がない場合もありますので、腕時計(辞書・計算・アラーム・通信等機能がないもの)等を各自で持参してください。

Q 付添者も試験会場に入れますか？

A 試験当日は、受験生及び教職員以外は構内立ち入り禁止とします。付添者控室の設定はありません。

アクセス



- 最寄駅より
神戸市営地下鉄(西神・山手線)「学園都市」駅より南へ徒歩約6分。
- 交通機関…大学最寄りの「学園都市」駅まで
大阪方面より
◆JR「三ノ宮」駅、阪急電鉄・阪神電車「神戸三宮」駅より、神戸市営地下鉄に乗り換え(「三宮」駅より約25分)
姫路方面より
◆JR「新長田」駅より、神戸市営地下鉄に乗り換え(「新長田」駅より約14分)。
◆JR「舞子」駅、山陽電車「舞子公園」駅より、神戸市バスまたは山陽バス(51・53・54系統)にて「学園都市駅前」停留所下車(「舞子」「舞子公園」駅より約30分)。
◆山陽電車「板宿」駅より、神戸市営地下鉄に乗り換え(「板宿」駅より約11分)。
※神戸市営地下鉄は、「三宮」「湊公園」「新長田」「板宿」の各駅で、他社線(JR、阪急電鉄、阪神電車、山陽電車、神戸電鉄)と接続しています。

スカラシップ試験奨学生

下記の区分で入学手続きを完了した者を対象として実施する任意の試験で、成績上位者に奨学金を給付します。試験科目は鉛筆デッサンもしくは学力試験となります。受験に際して検定料の納入は不要ですので、得意な科目でチャレンジしてください。

※新入生特待生の認定を受けた方は受験することはできません。
※鉛筆デッサンと学力試験の併願はできません。どちらかの試験科目を選択してください。
※出願要項は、入学手続き完了通知に同封します。

対象区分	出願期間(WEB)	出願書類送付期 ^{※1}	試験日程・科目 ^{※2}	認定枠	給付金額
総合型選抜Ⅰ期〈体験型〉 総合型選抜Ⅱ期〈面談型〉 学校推薦型選抜 指定校推薦/系列校推薦 総合型選抜Ⅲ期/V期 〈作品持参型〉 総合型選抜Ⅳ期 〈科目選択型〉	1/13(月) } 1/17(金)	1/18(土) 当日消印有効	鉛筆デッサン 2/7(金) 集合時間 9:40 試験時間 10:00~13:00 もしくは 学力試験 2/8(土) 集合時間 13:40 試験時間 14:00~15:30	20名	500,000円 (入学初年度のみ)

※1 出願書類郵送について、国外からの場合は書類郵送締切日までに必着とします。締切日消印有効ではありませんのでご注意ください。
※2 受験票は試験2日前までに一斉に配信します(郵送はいたしません)。インターネットエントリー/出願サイトよりダウンロードのうえ印刷し、所定の箇所で切り取ったものを試験当日にご持参ください。

スカラシップ試験科目

科目・時間・配点	詳細	持参物
鉛筆デッサン 180分/190点	与えられたモチーフを各自構図を考えてレイアウトし、形や質感を正確に鉛筆で描写するもの。 B3 サイズ画用紙を使用し、イーゼルは使用しない。	●受験票 ●鉛筆デッサン用具一式(電動不可) ●鉛筆、消しゴム(わり消し含む)、羽ほうき(製図用プラスチック)、鉛筆削り用具、はかり棒、擦筆、テラススケール、タッチエペーパー及びガーゼ ●カルトン(B3版程度) ●クリップ
学力試験 90分/190点	出題範囲 【英語:英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII】 【国語:現代の国語、言語文化】【数学:数学I、数学II、数学A】 受験科目は試験当日1科目選択。	●受験票 ●鉛筆(HB) ※シャープペンシル不可 ●消しゴム(電動不可) ●鉛筆削り(電動不可) ※シャープペンシルではマークを読み取れない場合があるので、必ず鉛筆を使用してください。

スカラシップ試験では、2/8(土)の学力試験のみ同日同時刻に実施する一般選抜Ⅰ期〈科目選択型〉における各科目と同じ問題を出题します。2024年度入学試験における、鉛筆デッサン試験合格者の作品例を44~45ページに、学力試験問題を63~74ページに掲載しています。

2024年度スカラシップ試験 鉛筆デッサン認定作品例



【モチーフ】
食器洗剤、タオル、パフスポンジ

【講評】
全体的に充実感のあるデッサンです。まず、3つのモチーフを空間的に配置していて、バランスの良い構図になっています。形や比例は、それぞれのモチーフをよく観察して、正確に捉えようとしています。陰影は、光の方向を意識しながら描かれているため、立体感や質感がしっかりと表現できています。特に食器洗剤は、文字のレタリングや透明部分の描きこみによって充実した存在感が生まれています。空間を意識するとさらに高い完成度に到達できるでしょう。空間表現とは、鉛筆の種類、描きこみ、タッチ等を工夫して、モチーフ同士の位置関係を表現することで。手前のパフスポンジは、さらに観察して細部まで描きこむと存在感が高まります。一方、食器洗剤の奥のタオルは、少し硬めの鉛筆を寝かせて用いると存在感が弱まり、より奥行きが表現できるでしょう。モチーフの影も重要です。床全体の奥行きを意識するだけで、さらに良いデッサンになるでしょう。

新入生特待生・資格特待生・高等教育の修学支援新制度

新入生特待生

認定条件 下記の区分において優秀な成績を収めた者

対象区分	認定枠	給付金額
得意科目を選択! 総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> 一般選抜Ⅰ期 <科目選択型>	12名	500,000円 [入学初年度のみ]
大学入学共通テストのみで判定! 一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>	4名	

資格特待生

認定条件 総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>で合格し本学へ入学した者で、
全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター各種認定者または本学指定資格等2資格以上取得者

特待生の種類	認定者(11~24年度実績)	給付金額
ジュニアマイスター ゴールド認定者	ジュニアマイスター ゴールド特待生	33名 1,000,000円 [入学初年度のみ]
ジュニアマイスター シルバー認定者	ジュニアマイスター シルバー特待生	26名 500,000円 [入学初年度のみ]
ジュニアマイスター ブロンズ認定者	ジュニアマイスター ブロンズ特待生	5名 250,000円 [入学初年度のみ]
大学が指定する 資格・コンテストを 2 資格以上取得	指定資格等取得 特待生	26名 250,000円 [入学初年度のみ]

※総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>で合格・入学手続き完了後、新たに資格等を取得・認定された場合も特待生として認定します。
ただし、2025年3月14日までに証明書(写)の提出が必要となります(必着)。

高等教育の修学支援新制度 | 授業料等減免制度 | について

本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象機関として認定されています。本制度の支援対象者は、独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金(41ページ)を併せて受給することができます。また、スカラシップ試験奨学生、新入生特待生または資格特待生は、本制度の対象にかかわらず給付されます。

応募要件	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の者で、社会で自立し、活躍するという明確な進路意識と強い学びの意欲がある者 ^{※1}
減免額 ^{※2}	入学金:200,000円(入学年次のみ) 授業料:700,000円(年額)
募集時期	4月初旬・9月中旬

※1 その他、国籍・入学までの期間等に関する申し込み要件があります。
※2 所得の区分に応じ、満額、または、その2/3・1/3・1/4等が減免されます。

【制度改正について】
令和6(2024)年度より、支援対象が拡大される予定です。要件や基準、支援の内容などは文部科学省及び日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

奨学金・授業料減免制度

◆本学独自の学生支援(給付型)
<奨学金>

名称	対象者	種別	金額	選考基準及び奨学金の内容等
新入生特待生	新入生	給付	500,000円 [入学初年度のみ]	総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>、一般選抜Ⅱ期/Ⅲ期 <大学入学共通テスト利用型>の合格者のうち成績優秀者。
ジュニアマイスター ゴールド特待生	新入生	給付	1,000,000円 [入学初年度のみ]	総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度において、ジュニアマイスターゴールドの認定者。
ジュニアマイスター シルバー特待生	新入生	給付	500,000円 [入学初年度のみ]	総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度において、ジュニアマイスターシルバーの認定者。
ジュニアマイスター ブロンズ特待生	新入生	給付	250,000円 [入学初年度のみ]	総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度において、ジュニアマイスターブロンズの認定者。
指定資格等取得特待生	新入生	給付	250,000円 [入学初年度のみ]	総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期/Ⅵ期 <資格取得型>の合格者のうち、本学が指定する資格・級およびコンテスト等の種別・賞位を2資格以上取得した者。
スカラシップ試験奨学生	新入生	給付	500,000円 [入学初年度のみ]	総合型選抜Ⅰ期 <体験型>、総合型選抜Ⅱ期 <面談型>、総合型選抜Ⅲ期/Ⅴ期 <作品持参型>、総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型>、学校推薦型選抜指定校推薦/系列校推薦の入学手続き完了者で、スカラシップ試験での成績上位者。※新入生特待生認定者は対象外。
在学学生特待生	在学学生	給付	150,000円	2年次から4年次の在学学生を対象に、各学年・各学科ごとの前年度成績優秀者。
神戸芸術工科大学 給付奨学金	在学学生	給付	年間授業料の1/2相当額を上限	修学意欲や熱意があるにもかかわらず、在学中に学費負担者が死亡、または病気・事故による長期入院などにより家計が急変し、修学が困難な者。
谷岡奨学金	在学学生	給付	正賞:300,000円 特別奨励賞:150,000円 奨励賞:100,000円 特別賞:50,000円	文化・芸術・スポーツ・社会活動の各分野において、世界大会・全国大会に準ずる大会(コンペ)等に出品(参加)し、優秀な成績を挙げた者。
学校法人谷岡学園 神戸芸術工科大学 奨学融資制度	在学学生 (利子のみ)	給付	融資を受けた際に生じる利子を給付	本学学生の修学を支援することを目的として、本学に在学する1年生から4年生(休学等は除く)の親または親権者が、本学園と提携している指定銀行で「神戸芸術工科大学提携教育ローン」の融資を受けた場合、最短修業年限中の利息を奨学金として本学園から給付します。
神戸芸術工科大学 奨学奨励奨学金	在学学生	給付	年額120,000円(上限) 前期・後期に60,000円ずつ給付 (後期採用者は60,000円)	本学に半期以上在学し、優秀な資質を有しながら、経済的な理由により修学困難と認められる者。 教育後援会費を納入している者。
神戸芸術工科大学 私費外国人留学生 奨学金	在学学生	給付	学部生 年額360,000円 大学院生 年額240,000円	勉学に意欲をもち経済的に修学が困難な私費外国人留学生を対象に申請者の中から選考をおこない、採用者には当該年度に限り給付。 ※金額・内容は2024年1月現在の情報です。2025年度は変更になる場合があります。

◆日本学生支援機構奨学金

名称	対象者	種別	金額	選考基準及び奨学金の内容等
日本学生支援機構 第一種奨学金	在学学生	貸与 (無利子)	自宅月額:20,000円/30,000円/40,000円/54,000円 ^(※1) いずれかを選択 (※)家計基準を満たした場合のみ利用可能 自宅外月額:20,000円/30,000円/40,000円/54,000円/64,000円 ^(※1) いずれかを選択 (※)家計基準を満たした場合のみ利用可能	人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者で、1年次は出身校の評定平均値が3.5以上、2年次以降は大学の成績が上位1/3以内の者。 ※家計支持者(父母、父母がいない場合は代わって家計を支えている人)が住民税非課税である者は、学力基準を適用しない。
日本学生支援機構 第二種奨学金	在学学生	貸与 (無利子) 利息	月額:20,000円から120,000円までの10,000円単位で選択 在学中は無利息 (卒業後 年利3%上限)	人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な者。
日本学生支援機構 給付奨学金	在学学生	給付	支援区分※ 自宅月額 自宅外月額 第Ⅰ区分 38,300円 75,800円 第Ⅱ区分 25,600円 50,600円 第Ⅲ区分 12,800円 25,300円	住民税非課税世帯、及びそれに準ずる世帯の者で、人物・学業ともに優れ、将来社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲のある者。 ※所得に応じて支援区分が認定されます。

◆国の教育ローン(貸与)

名称	対象者	種別	金額	選考基準及び奨学金の内容等
日本政策金融公庫 「国の教育ローン」	入学・在学者の保護者又は本人	貸与 (有利子)	学生・生徒1人につき350万円以内	入学・在学される方の保護者で、世帯年収(所得)が次表の金額以内の方 子供の人数 1人 2人 3人 4人 5人 給与所得者(事業所得者) 790万円(600万円) 890万円(690万円) 990万円(790万円) 1,090万円(890万円) 1,190万円(990万円) 【問い合わせ先】 教育ローンコールセンター 0570-008656 ※ご利用いただけない場合は、03(5321)8656へおかけください。

提携信販会社教育ローン／初年度に必要な機材・用具／学生専用マンション／下宿案内

提携信販会社教育ローン

本学には2つの学費サポート制度があります。どちらも入学金、授業料や教育充実費などの学費を学費負担者に代わって提携会社が大学に立替払いをおこない毎月分割で学費負担者が提携会社に返済していただく制度です。提携会社により手続き内容が異なりますので状況にあった選択ができます。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

- ◆セディナ学費ローン
 (問い合わせ先)
 SMBCファイナンスサービス株式会社 カスタマーセンター
 【TEL】050-3827-0375
 【ウェブサイト】<https://www.cedyna.co.jp/loan/alliance/tuition/>
- ◆オリコ学費サポートプラン
 (問い合わせ先)
 株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク
 【TEL】0120-517-325
 【ウェブサイト】<https://orico-web.jp/gakuhi/index.html>

初年度に必要な機材・用具

- ◆入学後、基礎教育の段階で学科ごとに機材・用具等をご購入いただく必要があります(指定があるもの以外は入学までにご購入いただく必要はありません)。
 - ◆2年次以降の専門教育においては、選択コースによって別途機材・用具が必要となる場合があります。
- ※同等品をお持ちの場合は新たにご購入いただく必要はありません。また、必要機材・価格は変更になる場合があります。
 ※教科書代等で別途3万円程度必要となります(初年度)。
 ※在学期間中は学生個人パソコンにCreative Cloudエンタープライズ版アプリケーション及びMicrosoft 365 Apps for enterpriseを無償で使用することができます。

学科	機材・用具	参考価格	学科	機材・用具	参考価格
建築・環境デザイン	製図用具	約20,000円	ビジュアルデザイン	デザイン用具・材料	約30,000円
	パソコン (※詳細は別途連絡)	約120,000円		パソコン (※必須購入ではありません)	約120,000円
	ソフト (※詳細は別途連絡)	約10,000円		ソフト (※必須購入ではありません)	約120,000円
生産・工芸デザイン	ノートパソコン (※詳細は別途連絡)	約150,000円	メディア芸術	画材・書籍・アプリケーションソフト類 (※履修科目により必要。詳細は別途連絡)	約10,000円 ↓ 30,000円
	ソフト (※詳細は別途連絡)	約12,000円		外部記憶装置 (USBメモリ、ポータブルSSDなど)	約10,000円
	材料費 (※履修科目により必要)	約45,000円		パソコン・タブレット類 (※詳細は別途連絡。2年次以降に必要となります。必ず入学後に教員へ相談してから購入してください)	約70,000円 ↓ 170,000円

学生専用マンション

一人暮らしの方のために本学学生専用マンションがあります。大学から徒歩8分の好立地で、オートロックやモニター付インターホンなど、セキュリティも万全です。詳細については、合格通知に同封する「学生専用マンション募集要項」をご確認ください。
 ※募集部屋数は毎年変動しますので、あらかじめご了承ください。
 ※本物件は、本学がマンションオーナーより借り上げ、本学に在籍する学生の福利厚生のために転賃を行っています。
 本学とマンションオーナーとの賃貸借契約は2027年3月31日に契約期間満了を迎えます。
 本学とマンションオーナーとの契約内容に変更が生じた際は、転賃条件にも変更が生じる場合があります。

下宿案内

- ◆下宿している在学生の多くは、5分～45分程度(徒歩・電車・バス)で通学できる場所に住んでいます。
- ◆大学近郊にあるワンルームマンションの家賃(月額)はおよそ35,000円から60,000円程度です。

紹介する物件の概要	通学時間	部屋タイプ	家賃(月額)
	徒歩: 5分～15分程度 地下鉄・電車・バス: 10分～45分程度	ワンルーム・1K 1DK・1LDK	35,000円～60,000円程度 ※家賃以外に共益費が2,000円～5,000円程度かかる場合があります。

下宿希望者には、物件や大学周辺のエリアマップ、物件の探し方のポイントが書かれた冊子を郵送しています(合格通知に同封しています)。また、下宿紹介については株式会社学生情報センター三宮店に委託しています。
 (問い合わせ先) nasic ナジック 株式会社学生情報センター三宮店
 フリーダイヤル0120-749-215 Tel.078-291-6749 Fax.078-291-6748

2024年度 入学試験問題 解答例

鉛筆デッサン

鉛筆デッサン ポイント

- ◆モチーフ数が、各自に与えられます。それぞれのモチーフを机の上に自由に配置構成して、描写してください。
- ◆試験時間は180分です。解答用紙は、B3サイズの画用紙を使用します。イゼールは使いません。カルトンに解答用紙をワリップで固定して、机を使って描きやすい姿勢で描写してください。解答用紙の縦使い、横使いは自由です。
- ◆解答用紙から離れて、作品全体を確認する必要がある場合は、他の受験生に迷惑をかけない範囲で席を立ててもかまいません。

POINT

総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> → 180分/190点満点



解答例

【モチーフ】

メガホン、紅白帽子、卓球ラケット

【講評】

画面いっぱいに描かれた、迫力のあるデッサンです。3つのモチーフを手前から奥へ間隔を空けながら配置することで、奥行きを感じさせる構図となっています。特にメガホンと紅白帽子との間にとった床面の光は、手が入りそうな空間感を与えています。また描きどころを押さえた描写は、隅々手が入ってなくてもモチーフの質感を表現できています。残念なのは、メガホンの底と、上から3分の1辺りにある蛇腹状の段差の楕円形が狂っていることです。これは画面に違和感を与える要因となり、裏側への回りこみも感じ難くさせます。度々作品を2~3m離れた場所から見て、形の狂いを修正しましょう。そして卓球ラケットの局所的な描きこみには少し不自然さを感じます。手前ではなく光と影の境目、或いは明るい部分に描写を施すということ、描きこまない部分も、面の向きと抵抗感、質感を表現するようにタッチを入れることを意識すると良いでしょう。

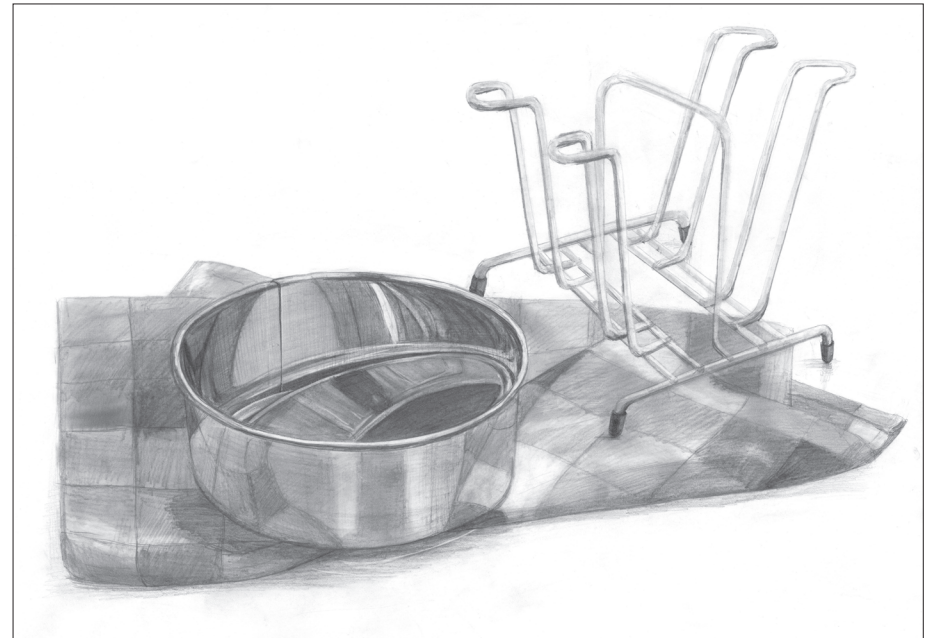


鉛筆デッサン ポイント

- 構図** 与えられたモチーフの存在感や形を考慮し、画面全体にどう描いたらよいかイメージして配置します。→画面にバランスよくおさめるにはどのように構成したらよいか、長方形の枠などを通して片目で確認するなどの練習をしておきましょう。
- 形** 円柱や直方体などの幾何形体は、特に形状の正確さが求められます。→幾何形体のモチーフを、正確に描く練習をしておきましょう。
- 素材感** 硬いもの、柔らかいもの、光ったもの、透明なものなど、異なる質感の描き分けが必要です。→材質感の対照的なモチーフを、構成し描く練習をしておきましょう。
- 光と陰影** どの方向から光がきているのか、モチーフの陰影を注意深く観察して描きます。→モチーフ自体の明るい部分と暗い部分、モチーフによってできたテーブル上の影など、微妙な陰影を描くことで光の方向性と立体感、遠近感が表現できます。陰影の観察と表現のテクニックを、練習しておきましょう。

POINT

一般選抜Ⅰ期 <科目選択型> → 180分/190点満点



解答例

【モチーフ】

グラススタンド、ランチョンマット、デコレーションケーキ丸型

【講評】

モチーフの配置は、全体を少し左下に下げた方がおさまりがよく、左上の空間も生きてきます。形は比較的正確ですが、グラススタンドのワイヤーの太さと上部の曲がり具合をしっかり描けると、さらに良くなります。デコレーションケーキ丸型は、底が取れるようになっているため少しずらしていますが、ずらす角度を大きくすると丸型の外に出すなどの工夫をすれば、より描きやすくなるでしょう。質感は、デコレーションケーキ丸型のステンレスの映り込みが複雑ですが上手に描けています。ランチョンマットは、質感が弱くなってしまいました。陰影は、部屋の照明の関係で描くのが難しいですが、光と影の方向を意識的に整理すると良いでしょう。階調は、濃いところの階調を増やし、一番濃いところをもっと濃くすると表情が豊かな力強いデッサンになります。



小論文

小論文 ポイント

- ◆「小論文」は、提示された資料を参考にして設問に答える形式で、2問が出題されます。
- ◆試験時間は120分です。資料は、芸術やデザインに関係のある写真や文章などです。
- ◆設問1は、資料の特徴や要旨を客観的にまとめる問題で、観察力、読解力をみます。
- ◆設問2は、設問にしたがって、800字以内で解答者自身の考察を展開する問題です。文章により自分の考えを的確に表現する力をみるとともに、分析力や論理的思考力、発想力もみます。
- ◆いずれの出題においても、誤字脱字は減点の対象になります。

POINT

総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> → 120分 / 190点満点

問題

設問1 下の写真と文章を参考にして、設問に答えてください。

写真1 写真1は、作家の「小説」の表紙である。表紙には、作家の「小説」のタイトルと、作家の「小説」の著者の名前が記されている。また、表紙には、作家の「小説」の表紙デザインが施されている。

文章1 文章1は、作家の「小説」の表紙デザインに関する文章である。文章1には、作家の「小説」の表紙デザインの特徴や、作家の「小説」の表紙デザインの意味などが記されている。

設問1 下の写真と文章を参考にして、設問に答えてください。

設問1-1 写真1と文章1を参考にして、作家の「小説」の表紙デザインの特徴を客観的にまとめてください。

設問1-2 写真1と文章1を参考にして、作家の「小説」の表紙デザインの意味を客観的にまとめてください。

設問2 下の文章を参考にして、設問に答えてください。

文章2 文章2は、作家の「小説」の表紙デザインに関する文章である。文章2には、作家の「小説」の表紙デザインの特徴や、作家の「小説」の表紙デザインの意味などが記されている。

設問2 下の文章を参考にして、設問に答えてください。

設問2-1 文章2を参考にして、作家の「小説」の表紙デザインの特徴を客観的にまとめてください。

設問2-2 文章2を参考にして、作家の「小説」の表紙デザインの意味を客観的にまとめてください。

小論文

解答例

【講評】

設問1

問題文では小説執筆において「自分自身に埋没しないという姿勢」を、著者の具体例をあげつつ経験だけではなく、観察者になり平等な視点で創作の喜びと苦しみを学ぶ考えをまとめています。

こちらに対して解答者は著者の(本文テキストにおける)具体例に関してはある程度割愛し、大事なポイントをまとめて本文の内容と構成をよく理解し、バランスよく要約をしています。

著者のほんとうは言葉では表現できないものを、想像が生み出した物語の器を使って表現しようとして挑戦し続けているのが小説であるという考えをテキストに即して取り上げることができています。特に著者独自の視点である他人や世界を観察する観察者について触れ、小説を書く上でどのように表現すべきかまで趣旨をよく理解し過不足なくまとめている点が評価できます。

設問1-1

小説においては、始まりは、言葉が浮かんできた時ではなく、映像などの言葉になる以前の段階のものが浮かんでくる時である。小説の第一歩を踏み出すためには、想像力によって造られた鮮やかな映像が必要不可欠である。小説を書く際にテーマなどというものは存在しない。なぜなら、非常にわかりやすい一行で書けてしまう主題を最初に意識してしまつたら小説にならないし、する必要がないからである。ほんとうは言葉では表現できないものを、想像が生み出した一つの世界の物語の器を使って表現しようとして挑戦し続けているのが小説である。言葉で表現できず、人が落ちたような過去の過去ではなかったような広い場所に立って見えたものを書く。つまり、自分自身に埋没するような姿勢ではなく、他人や世界を観察する観察者という視点になることで、あらゆるものを平等に見て小説が書けるのである。

設問1-2

「自分自身に埋没しないという姿勢」とはつまり、「自分が想像もしなかったような広い場所に立って世界を観察する姿勢」を得たことである。自分が何者であるかを追求するのではなく、自分から離れて未知のものを想像する姿勢とも言える。ここで未知のものを想像する「絵を描く」という行為について考えている。「絵を描く」という行為は、本文にある小説の「言葉」にできないという性質と似たようなものがある。一概に絵を仕事にすると言つても、現在には様々な職種に分かれている。例えば身近にある看板やロゴを製作するグラフィックデザイナーや、服のデザインを考案するファッションデザイナーは、自分の描きたいデザインを描ける仕事ではない。どうしようもないを製作してはじめて成り立つ仕事で、相手の要望に忠実に初めからデザインしなければならぬ。ここに、想像力というものが必要なのである。

設問2-1

もちろん、クライアントという存在がない仕事もある。しかし、小説が言葉で表現できないように、絵も色というだけでは感情が表現できないのである。怒りも「赤」という共通の認識があつても、赤色をただ塗つただけでは怒りという感情を読み取ることができない。これらを踏まえ、私が志望する絵を描く仕事、特にキャラクターデザイナーという仕事において「自分自身に埋没しない姿勢」を実践するとしたら、クライアントの面の中に広がる世界を言葉などを通して観察し、自分の表現と結び合わせる想像力を鍛える必要がある。悲しい場面を表現するならば、キャラクターの目を細くし、口角を下げることで画面に合った絵が完成する。現実には存在しない場面でも、現実にある風景を観察して、キャラクターの特徴とながる部分を想像することで、一つの作品として成り立つものが描けるのである。

小論文

イメージ表現

イメージ表現 ポイント

- ◆「イメージ表現」は、与えられたテーマ(ことば)から自由にイメージを発想し、色彩(ポスターカラーなどの水性絵の具、色鉛筆)を使って表現する実技試験です。自分のアイデアをもとに、色彩や構成を工夫し、独創的で豊かなイメージが表現できているかを評価します。
- ◆試験時間は180分です。解答用紙は、B3サイズの画用紙を使用します。

POINT

一般選抜Ⅰ期 <科目選択型> → 180分/190点満点

- 問題 ▶ 以下の言葉が表現している情景をあなたの自由なイメージで解答用紙に描写しなさい。
 ※解答用紙の縦横使用は自由。
 ※作品の上方向を示す矢印「↑」を解答用紙の矢印記入欄に記入すること。

「時空の交差点」



解答例

【講評】

この二人は同一人物だと思います。この二人の視点は現在・過去・未来とどれでも見て取れる時間軸で時空を表現して、それが走って交差しようとしている表現が設問をよく表していますね。疾走感があり構図と色使いも良く、交差する瞬間をスパークのように光らせている演出も大変良いです。時計の数字がバラバラなのは時空のゆがみを表しているのでしょうか。何を思っで急いでいるのかを舞っている書類で状況を想像させ、接触した瞬間にホワイトアウトをして、この後にどんな事が起こるのかいろいろな物語が浮かんでくるワクワクする作品ですね。

基礎学力試験／学力試験 英語・国語・数学

基礎学力試験/ 学力試験 ポイント

- ◆試験当日に英語・数学・国語から1科目選択
- ◆マークセンス方式

出題範囲 英語:コミュニケーション英語I、コミュニケーション英語II、英語表現I
 国語:国語総合(古文漢文除く)
 数学:数学I、数学II、数学A

※出題範囲は2024年度入試の内容です

POINT

基礎学力試験(英語)

総合型選抜Ⅳ期 <科目選択型> → 90分/190点満点

※問題のみの掲載です。

問題

英 語

1. 次の英文記事(The Japan News, 2023年6月28日)を読んで、以下の設問に答えなさい。

It is locked and dark. Only old books are available. There are probably many school libraries like that. School libraries need to be developed into places (㉑) children can gather and encounter memorable books.

The funds that the central government grants to local governments to purchase books for public elementary and junior high schools are not being fully utilized. A total of ¥22 billion was granted in fiscal 2021, but only ¥12.6 billion was actually used to purchase books.

Since the use of the funds is left to the discretion of local governments, it is believed that local governments put higher priority on (A) of social welfare programs and information technology at schools.

(A) It is impossible _____ to pursue other policies.

(㉒) digitization advances, society is inundated with a great deal of information. Reading activities are indispensable to acquire (B) to judge the truth or falsity of information and to use information correctly. School libraries play increasingly important roles as places for inquiry-based learning that fosters the ability to think.

Creating a reading environment for children is (C) in the future. The funds should be used for their original purpose, not just for immediate issues. The government may need to consider providing funds in the form of subsidies that can only be used for their designated purpose.

In some schools, old books stating that Germany is divided into East and West are still in place. Books must be sorted into those that should be kept and those that should be replaced.

For this purpose, it is important to have school librarians and teachers with librarian

certification who have expertise in books. (㉓) They are _____ want to read an interesting book."

It is not uncommon for school libraries to be closed for many hours because there is no school librarian on duty. School libraries also have (D) as a place for children to spend time. Librarians may be able to detect unusual behavior in children who have worries.

(㉔) More _____ casually drop by.

Some schools have carpeted floors, manga comic books and low kotatsu tables equipped with heaters and blankets (㉕) students can stretch their legs and read in comfort. Each municipality and school should make their own such efforts.

Earlier this month, the lawmakers leagues for print culture and school libraries jointly adopted a resolution calling (㉖) better treatment of school libraries, many (㉗) are listed on a nonregular basis, and the improvement of books kept at school libraries. It is hoped that they will strengthen (E) to lobby the central and local governments and lead to reforms.

A single book encountered at a library may be deeply engraved in the mind of a child and have a great impact on their life. All people concerned must share an appreciation of how important that is.

注: discretion 自由裁量; digitization デジタル化; inundate 氾濫させる;
 expertise 専門知識; municipality 地方自治体; lawmakers leagues 議員連盟

※問題作成のための英文の一部を改変、省略しています。

— 1 —

— 2 —

問題

問題

問1 次の10個は記事の中で使われている単語である。それぞれ下部の発音が同じものを、それぞれ下のア～エから一つ選びなさい。

(1) purchase ア epistle イ arrange ウ gather エ common [1]

(2) legal ア glare イ toast ウ proud エ quit [2]

(3) technology ア chase イ machine ウ headache エ chamber [3]

(4) immediate ア chemistry イ previous ウ secretary エ demonstrate [4]

(5) negotiation ア march イ plague ウ digester エ disappear [5]

問2 次の10個は記事の中で使われている単語である。それぞれ第一アクセント（第一強勢）の位置が同じものを、それぞれ下のア～エから一つ選びなさい。

(1) a · vai · ble ア ad · mi · ra · ble イ com · mu · ni · ty エ nec · es · sar · y [6]

(2) wel · fare ア pat · tern イ sup · pose ウ sus · pense [7]

(3) in · creas · ing · ly ア mid · am · chid · y イ sit · on · self · le ウ sym · tom · at · ic エ i · den · ti · ty [8]

(4) sig · nif · i · cant ア lit · er · a · ture イ su · per · mar · ket ウ fun · da · men · tal エ ad · di · tion · al [9]

(5) im · prove · ment ア as · tro · nom · y イ at · mos · phere ウ dra · mat · ic エ hu · mor · ous [10]

問3 文中の(ア)～(エ)に入れるのに最も適当なものを、それぞれア～エから一つ選びなさい。

(1) ア which イ there ウ where エ whose [11]

(2) ア As イ Although ウ Because エ After [12]

(3) ア because of イ so that ウ in order to エ unless [13]

(4) ア for イ to ウ on エ in [14]

(5) ア who イ which ウ of whom エ what [15]

問4 文中の(ア)～(エ)に入れるのに最も適当な語(句)をア～エから選びなさい。

(A) [16] (B) [17] (C) [18] (D) [19] (E) [20]

ア their efforts イ the enhancement
ウ a significant function エ the abilities
オ an investment

問5 それぞれ指示に従って答えなさい。

(1) 下線部(あ)が「本来なら図書館入りに充てられるべき資金が、他の政策に使われている事実を指摘することはできない」の意味を表す英文になるようにア～クの語(句)を並び替えたとき、[21]・[22]・[23]にくるものを選びなさい。

It is impossible _____ [21] [22] _____ [23] _____ to pursue other policies.

ア for the purchase of books イ the fact
ウ used エ allocated
オ are being オ that should have been
キ to overlook ク that funds [24]

問6 英文の内容と合っているものは「ア」、合っていないものは「イ」で答えなさい。

(1) 学校では、鍵がかかっていて、薄暗く、しかも古い本しか置いていない学校図書館が好まれる。 [25]

(2) 国が公立小中学校の図書館入費として交付している額の6割程度しか図書館入りに使われていないのは、使途が自由体にならねられているからだ。 [26]

(3) アジチカ花が進み多くの情報が手に入るので、学校の情報化は重要だが、図書館の役割は減っている。 [27]

(4) 学校図書館は読書をする場所であると同様に、子どもたちが気楽に立ち寄り通って場所としての機能も大きい。 [28]

(5) 図書館で出会う一冊の本が人生に与える影響の重要性を関係者全員が正しく理解することが必要である。 [29]

問1 表の10個は記事の中で使われている単語である。それぞれ下部の発音が同じものを、それぞれ下のア～エから一つ選びなさい。

(1) purchase ア epistle イ arrange ウ gather エ common [35]

(2) legal ア glare イ toast ウ proud エ quit [36]

(3) technology ア chase イ machine ウ headache エ chamber [37]

(4) immediate ア chemistry イ previous ウ secretary エ demonstrate [38]

(5) negotiation ア march イ plague ウ digester エ disappear [39]

問2 次の10個は記事の中で使われている単語である。それぞれ第一アクセント（第一強勢）の位置が同じものを、それぞれ下のア～エから一つ選びなさい。

(1) a · vai · ble ア ad · mi · ra · ble イ com · mu · ni · ty エ nec · es · sar · y [40]

(2) wel · fare ア pat · tern イ sup · pose ウ sus · pense [41]

(3) in · creas · ing · ly ア mid · am · chid · y イ sit · on · self · le ウ sym · tom · at · ic エ i · den · ti · ty [42]

(4) sig · nif · i · cant ア lit · er · a · ture イ su · per · mar · ket ウ fun · da · men · tal エ ad · di · tion · al [43]

(5) im · prove · ment ア as · tro · nom · y イ at · mos · phere ウ dra · mat · ic エ hu · mor · ous [44]

問3 英文の内容と合っているものは「ア」、合っていないものは「イ」で答えなさい。

(1) 学校では、鍵がかかっていて、薄暗く、しかも古い本しか置いていない学校図書館が好まれる。 [45]

(2) 国が公立小中学校の図書館入費として交付している額の6割程度しか図書館入りに使われていないのは、使途が自由体にならねられているからだ。 [46]

(3) アジチカ花が進み多くの情報が手に入るので、学校の情報化は重要だが、図書館の役割は減っている。 [47]

(4) 学校図書館は読書をする場所であると同様に、子どもたちが気楽に立ち寄り通って場所としての機能も大きい。 [48]

(5) 図書館で出会う一冊の本が人生に与える影響の重要性を関係者全員が正しく理解することが必要である。 [49]

問1 下線部(イ)が「面白い本が読みたいと言っている図書館にやってくる子どもたちに、的確に本を勧めるなどの役割が期待されている」の意味を表す英文になるように、ア～クの語(句)を並び替えたとき、[24]・[25]・[26]にくるものを選びなさい。

They are _____ [24] _____ [25] _____ [26] _____, "I want to read an interesting book."

ア accurately recommending books イ saying
ウ expected エ come to the library
オ who カ as
キ to children ク to play such roles

問2 下線部(う)が「学校図書館を子どもたちが気楽に立ち寄れる場所にするために、学校司書やその他のスタッフをもっと雇うべきである」の意味を表す英文になるように、ア～クの語(句)を並び替えたとき、[27]・[28]・[29]にくるものを選びなさい。

More _____ [27] _____ [28] _____ _____ casually drop by.

ア school librarians イ school librarians and other staff
ウ to make エ be assigned
オ should カ children can
キ where ク places

問題

問題

問1 次の会話文を読んで、以下の設問に答えなさい。

Ken and Mary were high school classmates. They met by chance in a department store.

Mary : Oh! You are Ken, right?
Ken : Sure, but I'm sorry, you're...
Mary : It's me, Mary, Mary Smith.
Ken : Hmmm. Mary Smith, Mary Smith... sorry.
Mary : Your classmate in junior high school, Mary.
Ken : Ah, now I remember. Hi, I haven't seen you (A) a while.
Mary : Yes, it has been a long time! When was the (B) time we saw each other?
Ken : I think it was three years ago, at the class reunion. How have you been?
Mary : I've been great. I got a job in this department store last year. How about you?
Ken : I'm doing well, thanks. I work for a small design firm.
Mary : By the way, what are you doing here? Shopping?
Ken : [1] I'm having _____ . Do you remember her?
Mary : Of course. How is she doing?
Ken : She is as fine as ever. In those days, you (C) often come to my house a lot, and I know you were very close to my mother.
Mary : Yes, I probably spent more time enjoying chatting to your mother than to you.
Ken : [2] I'm feeling _____ . What kind of things do you think she would like to receive as a gift?
Mary : She has a lot of interests and have various things. Let me see, it is quite difficult. Well, I can't think of anything right now.
Ken : Could you help me pick out a gift if you don't mind?
Mary : Of course not. But now I'm on business. Can you wait another hour? I (D) off work at 3:00 today, so I can do it after that.
Ken : Thank you very much. I'll treat you to dinner (E) return.

問2 下線部(1)がそれぞれ日本語の意味を表す英文になるようにアの語(句)を並び替えたとき、[40]・[41]にくるものを選びなさい。

(1) 母への誕生日プレゼントを選ぶのに苦労しています。
I'm having _____ [40] _____ ;
ア choosing イ for ウ my mom
エ a hard time オ a birthday gift
(2) あんなら母が好きなものを選んでくれそうに気がしています。
I'm feeling _____ [41] _____ ;
ア would like イ you ウ my mom
エ like オ something オ could pick

問3 会話の内容と合っているものは「ア」、合っていないものは「イ」で答えなさい。

(1) ケン(Ken)とメアリー(Mary)は中学校の同級生だが最近では交流がなかった。 [42]

(2) ケンはアフリカと仕事をするつもりで関係者の職場にやってきました。 [43]

(3) メアリーは中学校の頃、ケンのお母さんと知り合い、よく遊んでいた。 [44]

(4) ケンは選んだプレゼントが母に気に入られるかメアリーの意見を聞いていた。 [45]

問1 (1)～(5)の()に入れるのに最も適当な語(句)をそれぞれ下のア～エから一つ選びなさい。

(1) Since I started living alone, my mother tends to call me as soon as she () an e-mail from me. [46]

ア sees イ saw ウ is seeing エ will see

(2) My brother is () than I. [47]

ア older than イ three years older
ウ by three years older エ older to three years

(3) He is said () in Paris when he was young. [48]

ア to live イ living
ウ to have lived エ having lived

(4) You have () on your shelves. Did you have fried eggs for breakfast? [49]

ア an egg イ some eggs ウ a few eggs エ a little egg

(5) () made you choose Kobe Design University? [50]

ア When イ What ウ Why エ How

問題

数 学

解答上の注意

(1) 分数の形を解答は、すべて既約分数で答えなさい。
 (2) 根号を含む形の解答は、根号の中の自然数が最小となる形で答えなさい。
 例え $\sqrt{\frac{1}{4}}$ 、 $\sqrt{\frac{1}{2}}$ に $4\sqrt{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ のように
 答えてはいけません。
 (3) 〇の中には、かならず $+$ か $-$ を入れなさい。たとえば $x=1$ の場合も、 $x=\text{○}1$ とし
 なさい。

問題 1. 次の各問に答えよ。

(1) 次の式 $(x^2-9)x^2+9-x^2$ を因数分解せよ。
 $(x^2-9)x^2+9-x^2 = (x+3)(x-3)(x+3)(x-3)$ である。

(2) $x=1-i$ (ただし、 i は虚数単位) のとき、多項式 $3x^2+4x^2+8x-5$ の値を求めよ。
 -4 、 $\frac{3}{2}$ である。

(3) 2つの角 α 、 β は、 $\frac{1}{2}\pi < \alpha < \pi$ 、 $\pi < \beta < \frac{3}{2}\pi$ 、 $\sin\alpha = \frac{5}{13}$ 、 $\cos\beta = -\frac{11}{13}$ を満たしている。
 このとき、 $\sin(\alpha+\beta)$ の値を求めよ。 $\frac{16}{221}$ である。

(4) 自然数 n の階乗を求めると、 $\frac{1}{2}$ 桁である。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ とする。

(5) 2点 A(3, -7)、B(8, 5) を直径の両端とする円の方程式を求めよ。
 $(x-\frac{11}{2})^2 + (y+1)^2 = \frac{65}{2}$ である。

— 11 —

問題

数 学

解答上の注意

(1) 分数の形を解答は、すべて既約分数で答えなさい。
 (2) 根号を含む形の解答は、根号の中の自然数が最小となる形で答えなさい。
 例え $\sqrt{\frac{1}{4}}$ 、 $\sqrt{\frac{1}{2}}$ に $4\sqrt{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ と答えるところを、 $2\sqrt{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\sqrt{2}}{2}$ のように
 答えてはいけません。
 (3) 〇の中には、かならず $+$ か $-$ を入れなさい。たとえば $x=1$ の場合も、 $x=\text{○}1$ とし
 なさい。

問題 1. 次の各問に答えよ。

(1) 次の式 $(x^2-9)x^2+9-x^2$ を因数分解せよ。
 $(x^2-9)x^2+9-x^2 = (x+3)(x-3)(x+3)(x-3)$ である。

(2) $x=1-i$ (ただし、 i は虚数単位) のとき、多項式 $3x^2+4x^2+8x-5$ の値を求めよ。
 -4 、 $\frac{3}{2}$ である。

(3) 2つの角 α 、 β は、 $\frac{1}{2}\pi < \alpha < \pi$ 、 $\pi < \beta < \frac{3}{2}\pi$ 、 $\sin\alpha = \frac{5}{13}$ 、 $\cos\beta = -\frac{11}{13}$ を満たしている。
 このとき、 $\sin(\alpha+\beta)$ の値を求めよ。 $\frac{16}{221}$ である。

(4) 自然数 n の階乗を求めると、 $\frac{1}{2}$ 桁である。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ とする。

(5) 2点 A(3, -7)、B(8, 5) を直径の両端とする円の方程式を求めよ。
 $(x-\frac{11}{2})^2 + (y+1)^2 = \frac{65}{2}$ である。

— 11 —

問題 2. 次の(4)、(5)の両方に答えよ。

(4) 箱の中に赤玉が7個、青玉が4個、白玉が3個入っている。この箱の中から無作為に4個の玉を同時に取り出す。
 このとき、次の各問に答えよ。

(1) 赤玉が2個、青玉が1個、白玉が1個の4個が取り出される確率を求めよ。
 $\frac{1}{10}$ である。

(2) 取り出される4個の玉のうち、赤玉がちょうど3個だけ含まれる確率を求めよ。
 $\frac{1}{20}$ である。

(3) 取り出される4個の玉の個数と色について、白玉の個数も赤玉の個数も白玉の個数より少ない、という条件が満たされる確率を求めよ。 $\frac{1}{10}$ である。

(5) 下表は、生徒20人の数学のテストの得点と人数をまとめたものであり、生徒20人のテストの得点の平均値が65点である。

得点(点)	90	80	70	60	50	40	合計
人数(人)	3	4	4	6	2	1	20

このとき、次の各問に答えよ。

(1) 上の表中の a 、 b の値を求めよ。 $a=7$ 、 $b=6$ である。

(2) 生徒20人の数学のテストの得点の分散を求めよ。 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ 、 $\frac{1}{4}$ である。

(3) 生徒20人の数学のテストの得点をすべて $\frac{1}{2}$ 倍したものを新たな得点にすると変更する。このとき、この新たな得点の標準偏差を求めよ。 $\frac{1}{2}\sqrt{10}$ 点である。

— 12 —

問題 3. $\triangle ABC$ において、 $AB=6$ 、 $BC=8$ 、 $\angle ABC=60^\circ$ である。辺 BC の中点を M とし、辺 AB 上に $MD=AD$ なる点 D をとり、辺 AC 上に $ME=AE$ なる点 E をとる。
 このとき、次の各問に答えよ。

(1) 辺 AC の長さを求めると、 $AC = \sqrt{\frac{1}{2}}$ 、 $\sqrt{\frac{3}{2}}$ である。

(2) 線分 AM の長さを求めると、 $AM = \frac{1}{2}$ 、 $\frac{3}{2}$ である。

(3) $\cos\angle ACB$ の値を求めると、 $\cos\angle ACB = \frac{\frac{1}{2}\sqrt{\frac{1}{2}}}{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\frac{3}{2}\sqrt{\frac{3}{2}}}{\frac{1}{2}}$ である。

(4) 線分 MD の長さを求めると、 $MD = \frac{1}{2}$ である。

(5) 線分 ME の長さを求めると、 $ME = \frac{\frac{1}{2}\sqrt{\frac{1}{2}}}{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\frac{3}{2}\sqrt{\frac{3}{2}}}{\frac{1}{2}}$ である。

(6) $\triangle EAM$ の面積を S_1 、 $\triangle DAM$ の面積を S_2 とするとき、 $\frac{S_1}{S_2}$ の値を求めると、 $\frac{\frac{1}{2}\sqrt{\frac{1}{2}}}{\frac{1}{2}}$ 、 $\frac{\frac{3}{2}\sqrt{\frac{3}{2}}}{\frac{1}{2}}$ である。

— 13 —

問題 4. 3次関数 $f(x) = x^3 - 2x^2 + 6x - 11$ を考える。このとき、次の各問に答えよ。

(1) ①のグラフ上の点 $(3, f(3))$ における①のグラフの接線の方程式を求めると、 $y = \frac{1}{2}x - \frac{1}{2}$ である。

(2) ①が極小となるときの x の値を求めると、 $x = \frac{1}{3}$ であり、①が極大となるときの x の値を求めると、 $x = \frac{2}{3}$ である。

(3) ①のグラフと②の接線①の共有点のうち、点 $(3, f(3))$ 以外の共有点の座標を求めると、 $(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2})$ である。

(4) ①のグラフと②の接線①と②で囲まれた部分の面積を求めると、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ である。

(5) ①の接線①に平行な直線 $y = ax + b$ と①のグラフの共有点の個数が3個となると、 a のとり得る値の範囲を求めると、 $-\frac{1}{2} < a < \frac{1}{2}$ である。

— 14 —

問題

(以下余白は計算用に使用)

(以下余白は計算用に使用)

— 15 —

— 16 —

学力試験（英語）

一般選抜 I 期 <科目選択型> → 90分 / 190点満点

※問題のみの掲載です。

問題

英 語

1. 次の英文記事 (The Japan News, 2023年6月21日) を読んで、以下の設問に答えなさい。

著作権の都合で問題文章を削除しています。

— 1 —

— 2 —

問1 次の①～⑤は文中で使われている単語である。それぞれ下線部の発音が同じものを、以下のア～エから一つ選びなさい。

(1) technique	ア <u>th</u> irteen	イ th <u>er</u> ose	ウ <u>sw</u> im	エ v <u>ir</u> gin	1
(2) equidistant	ア <u>d</u> igestible	イ f <u>igh</u> ter	ウ ph <u>ys</u> ics	エ p <u>ap</u> er	2
(3) anticipate	ア <u>r</u> esistance	イ ch <u>a</u> ge	ウ ph <u>o</u> sure	エ d <u>e</u> pression	3
(4) dozen	ア <u>br</u> oad	イ <u>l</u> awful	ウ <u>s</u> oft	エ <u>p</u> ower	4
(5) organic	ア <u>m</u> achine	イ d <u>i</u> sappear	ウ <u>s</u> mooth	エ d <u>i</u> gnose	5

問2 次の①～⑤は文中で使われている単語である。それぞれ第一アクセント（第一強勢）の位置が同じものを、以下のア～エから一つ選びなさい。

(1) con·struct	ア pre·vide	イ con·fort	6
ウ stan·dard	エ pur·chase		
(2) chal·lenge	ア con·fuse	イ ca·rear	7
ウ con·trol	エ aa·post		
(3) at·mo·sphere	ア ad·van·ture	イ re·li·gion	8
ウ or·ga·nize	エ ap·par·ent		
(4) tra·di·tion·al	ア pol·i·ti·cian	イ lit·er·a·ture	9
ウ am·bas·sa·dor	エ fun·da·men·tal		
(5) suc·cess·ful·ly	ア ad·mi·ra·ble	イ ex·hi·bi·tion	10
ウ ap·pre·ci·ate	エ in·de·pend·ent		

問3 文中の (①) ～ (⑤) に入れるのに最も適当なものを、それぞれア～エから一つ選びなさい。

①	ア to shave	イ shaving	ウ shave	エ being shaved	11
②	ア that	イ for	ウ of	エ as	12
③	ア after	イ to	ウ by	エ between	13
④	ア instead of	イ in favor of	ウ in light of	エ in spite of	14
⑤	ア passes	イ passed	ウ had passed	エ will pass	15

問4 文中の (A) ～ (E) に入れるのに最も適当なものをア～エから選びなさい。

(A):	16	(B):	17	(C):	18	(D):	19	(E):	20
------	----	------	----	------	----	------	----	------	----

ア using wood to build the body of the satellite
 イ allowing the pieces to tightly fit together like puzzle pieces
 ウ reducing its impact on the environment
 エ including improving communications
 エ which prevents deformations

— 3 —

— 4 —

問題

問5 それぞれ指示に従って答えなさい。

(1) 下線部 (A) が、「宇宙の環境に耐えられるように、できる限りの状態にする必要がります」の意味を表す英文になるように、アートの語 (B) を選べたとき (21) - (23) にくるものを書きなさい。

We _____ (21) _____ (22) _____ (23) _____ the conditions of space.

ア It's _____ イ withstand
ウ it can _____ エ make sure
オ the best _____ カ need to
キ so that _____ ク it can be

(2) 下線部 (A) が、「宇宙の厚さは、ロケットが安全に帰る必要など、さまざまな要因に基づいて決定された」の意味を表す英文になるように、アートの語 (B) を選べたとき (24) - (26) にくるものを書きなさい。

The thickness of the wood _____ (24) _____ (25) _____ (26) _____ the rocket could safely carry.

ア was _____ イ based
ウ including _____ エ how
オ much weight _____ カ determined
キ various factors, _____ ク on

(3) 下線部 (A) が、「また、湿度による木材の収縮を防ぐため、大気の状態にも細心の注意を払っている」の意味を表す英文になるように、アートの語 (B) を選べたとき (27) - (28) - (29) にくるものを書きなさい。

We've also _____ (27) _____ (28) _____ (29) _____ the humidity.

ア due to _____ イ to prevent
ウ shrinking _____ エ to atmospheric conditions
オ very careful attention _____ カ the wood
キ from _____ ク paid

問6 英文の内容と合っているものは「ア」、合っていないものは「イ」で答えなさい。

(1) 用語「Kuroda Kaku」は教育者の本職人工業家を行うために京都大学が提供している企業の企業である。 (30)

(2) 本で人工衛星を作る際は、大気圏突入時に発生する金属片の衝突を避けることで衛星が軽減に近づけようとするのである。 (31)

(3) 「オネオネ (magella)」が使われるのは精度が均一で変動しにくく、しかも長時間宇宙にさらされても劣化が少ないことが実験で示されたからである。 (32)

(4) 「望形隠し構文 (omogata kakushi argumi)」を用いたのは、関係につながる形容詞や副詞を文頭に位置に組み立てることができるからである。 (33)

(5) 本が宇宙開発の材料として期待できるのは、宇宙では、雨が降らず虫や細菌がいないので、菌の心配がないのも理由である。 (34)

問題

問5 会話の内容と合っているものは「ア」、合っていないものは「イ」で答えなさい。

(1) 日理ウリス (Chira) は尤一 (Koichi) を図書館で見かけることはあまりない。 (35)

(2) 尤一は本館の隅の隅のフロアを ChatGPT に尋ねて見ている。 (36)

(3) ウリスは ChatGPT に書かれたレポートを印刷して読むことができた。 (37)

(4) 教授は、ウリスが他の学生たちと協力して課題を完成したことを喜んでいる。 (38)

(5) ウリスは尤一に時間をかかると自分で資料を集めて考える方が良いとアドバイスした。 (39)

問6 (1)~(5)の () に入れる最も適切な語 (B) をそれぞれ下のア〜エから一つ選びなさい。

(1) You had better () alone on such a deserted street at night. (35)

ア not walk _____ イ not to walk
ウ not walking _____ エ not to walking

(2) It is said that Miyuki was () a suspicious person while she was jogging. (36)

ア spoken to _____ イ spoken to by
ウ spoken by _____ エ spoken by to

(3) Kenji told me that the live concert was wonderful. I wish I () him. (37)

ア joined _____ イ have joined
ウ will join _____ エ had joined

(4) It depends on the store, but the part-time workers here are paid by (). (38)

ア a week _____ イ the week _____ ウ weekly _____ エ weeks

(5) () the suspect went to the convenience store with? (39)

ア Who was _____ イ Whom was
ウ Who it was that _____ エ Who was it that

問7 次の会話文を読んで、以下の設問に答えなさい。

At a library, Chris, an exchange student, sees Kiichi doing something.

Chris : Hi, Kiichi. It's an unusual scene, you being in the library. But with such a serious face, what are you doing with a computer (A) reading a book?
Kiichi : Hi, Chris. I'm trying to (1) figure out how to use ChatGPT.
Chris : ChatGPT? What are you going to do with it?
Kiichi : (1) I want _____ by next week. I haven't (2) turned it in yet. So, (A) _____
Chris : I've already finished that and handed it in last week. But I was told it was on the late side. By the way, is it all right to use ChatGPT?
Kiichi : I hear that they are starting to use it in the big companies and that the government is positive about it as well. So, I think (B) _____
Chris : But (B) the news, AI experts and public figures have signed "A Statement on AI Risk," sounding the alarm about AI.
Kiichi : I read that too, but it's about AI, not ChatGPT.
Chris : What? ChatGPT isn't AI? I think it's some kind of AI.
Kiichi : Well, it doesn't (3) matter either way. (C) it writes the report for me.
Chris : When I went to hand in my paper, the professor told me that she had found several reports with almost the same content. When she questioned the students who had written the report, they all replied that they had looked it up and written it together. But the content was a little different and the sentences were a little bit unnatural. So, she said that (D) I wonder if they used ChatGPT. (4) No matter _____ will understand.
Kiichi : Is that true?
Chris : That's what she said. Although AI is good at gathering information from the Web, it can't take (D) whether the information is true, false, or fake, she said. What is more, it is also not good at the technical things that are rarely found on the Web.
Kiichi : If that is true, then it would be a waste of time to use it to write the report, right?
Chris : Yes. It would be better to collect materials and think about it (E), even if it takes a long time. Fortunately, this is a library with many resources, so it's perfect!

問8 下線部(1)~(5)の語 (B) の説明として適切なものを以下のア〜エから選びなさい。

(1) figure out (25) (2) turn in (36) (3) matter (37)

ア to be important, especially to be important to you, or to have an effect on what happens
イ to think about a problem or situation until you find the answer or understand what has happened
ウ to give a piece of work you have done to a teacher, your employer etc.

問9 文中の (A) ~ (E) に入れる最も適切な語 (B) をア〜エから選びなさい。

(A): (38) (B): (39) (C): (40) (D): (41) (E): (42)

ア into account _____ イ on your own _____ ウ according to
エ as long as _____ オ instead of

問10 文中の [あ] ~ [う] に入れるものとしてそれぞれ、イのうち適切な方を選びなさい。

(あ): (43)
ア I'm in a bit of a hurry. _____ イ I'm in no hurry at all.
(い): (44)
ア It had to be okay. _____ イ It should be okay.
(う): (45)
ア they cannot have used AI. _____ イ they must have used AI.

問11 下線部(1)はそれぞれ日本語の意味を表す英文になるように以下のア〜カの語 (B) を選べたとき (46) - (49) にくるものを書きなさい。

(1) 来週までに提出しなければならないレポートを ChatGPT に書いてもらいたい。
I want _____ (46) _____ (47) _____ by next week.
ア ChatGPT _____ イ is supposed to _____ ウ that
エ write the report _____ オ to _____ カ be submitted
(2) どんなにうまくできても、わかる人にはわかる。
No matter _____ (48) _____ to decide, (49) _____ will understand.
ア well _____ イ those _____ ウ you try
エ who _____ オ how _____ カ understand

- 【1】 新語集
- ① 新語集
 - ② 新語集
 - ③ 新語集
 - ④ 新語集
 - ⑤ 新語集

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- 【1】 新語集
- ① 新語集
 - ② 新語集
 - ③ 新語集
 - ④ 新語集
 - ⑤ 新語集

— 33 —

問題

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- ① 新語集
- ② 新語集
- ③ 新語集
- ④ 新語集
- ⑤ 新語集

— 32 —

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- ① 新語集
- ② 新語集
- ③ 新語集
- ④ 新語集
- ⑤ 新語集

— 31 —

問題

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- ① 新語集
- ② 新語集
- ③ 新語集
- ④ 新語集
- ⑤ 新語集

— 30 —

問題

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- ① 新語集
- ② 新語集
- ③ 新語集
- ④ 新語集
- ⑤ 新語集

— 36 —

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- ① 新語集
- ② 新語集
- ③ 新語集
- ④ 新語集
- ⑤ 新語集

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

問題 1 本文の「新語」は、文中の「新語」の語彙を指している。この「新語」の語彙は、

- ① 新語集
- ② 新語集
- ③ 新語集
- ④ 新語集
- ⑤ 新語集

— 34 —

問題

数 学

解答上の注意

(1) 分数の約分は、すべて既約分数で答えなさい。
 (2) 根号を含む解答は、根号の中の自然数が最小となる形で答えなさい。
 例えは $\sqrt{\frac{16}{9}}$ に $\frac{4}{3}$ 、 $\sqrt{\frac{18}{2}}$ と答えるところを、 $2\sqrt{\frac{2}{3}}$ のように答えてはいけません。
 (3) 〇の中には、かならず+か-を入れない。たとえ $x=1$ の場合も、 $x=\bigcirc$ としなさい。

問題 1. 次の各問に答えよ。

(1) 次の式 $x^2 - 6x + 1$ を因数分解すると、
 $x^2 - 6x + 1 = (x - \square)^2 - \square$ である。

(2) $a > 0$ 、 $b > 0$ のとき、 $(a + \frac{b}{a})(\frac{a}{b} + b)$ の最小値を求めると、 $\frac{16}{3}$ である。

(3) 方程式 $|x^2 - 4x| = 8$ が異なる実数解を 4 個もつような定数 k の範囲を求めると、
 $k < -4$ である。

(4) 整式 $x^2 + ax + b$ が整式 $(x + 2)^2$ で割り切れるとき、定数 a 、 b の値を求めると、
 $a = \bigcirc$ 、 $b = \bigcirc$ である。

(5) $x > 0$ 、 $y > 0$ 、 $x + y = 20$ のとき、 $\log_2 x + \log_2 y$ の最大値を M とする。このとき、 M を 10 乗すると対数で表すと、 $M = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

問題 2. 次の各問に答えよ。

(A) 大・中・小のサイコロがそれぞれ 1 個ずつある。これら 3 個のサイコロを同時に 1 回投げ、大のサイコロの出た目を x 、中のサイコロの出た目を y 、小のサイコロの出た目を z とする。このとき、次の各問に答えよ。

(1) $x + y + z$ となる確率を求めると、 $\frac{7}{216}$ である。

(2) $1 \leq x < y < z \leq 6$ となる確率を求めると、 $\frac{5}{1296}$ である。

(3) $1 \leq x \leq y \leq z \leq 6$ となる確率を求めると、 $\frac{7}{216}$ である。

(4) $x + y + z = 5$ となる確率を求めると、 $\frac{1}{1296}$ である。

(B) 出番番号 1 番から x 番までの生徒 x 人が 2 種類のゲーム 1、ゲーム 2 をした。ただし、 x は 5 以上の整数とする。ゲーム 1 の得点は、出番番号 1 番と 2 番の 2 人の生徒がそれぞれ 0 点で、出番番号 3 番から x 番までの生徒はそれぞれ a 点であった。ただし、 a は 1 以上の整数とする。ゲーム 2 の得点は、出番番号 1 番と 2 番と 3 番の 3 人の生徒がそれぞれ 0 点で、出番番号 4 番から x 番までの生徒はそれぞれ b 点であった。ただし、 b は 1 以上の整数とする。生徒 x 人のゲーム 1 の得点の平均点が $\frac{8}{3}a$ 点であるとき、次の各問に答えよ。

(1) x の値を求めると、 $x = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

(2) ゲーム 1 とゲーム 2 の得点の相関係数を求めると、 $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

- 11 -

問題 3. 円 O に内接する四角形 ABCD において、 $AB = 8$ 、 $BC = 5$ 、 $CD = 3$ 、 $DA = 5$ 、 $BD = 7$ である。このとき、次の各問に答えよ。

(1) $\cos \angle BAD$ の値を求めると、 $\cos \angle BAD = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。また、 $\angle BCD$ の大きさを求めると、 $\angle BCD = \square$ である。

(2) 四角形 ABCD の面積を求めると、 $\frac{19}{2}\sqrt{\square}$ である。

(3) 円 O の半径の長さを求めると、 $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

(4) $\sin \angle CBD$ の値を求めると、 $\sin \angle CBD = \frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

(5) $AC = x$ とするとき、 $\triangle ACD$ の面積を x を用いた式で表すと、 $\frac{x^2 - \sqrt{\square}}{\square}$ である。

(6) 対角線 AC の長さを求めると、 $AC = \square$ である。

問題 4. 関数 $f(x) = x^2 - 6x + 11x - 6$ と、次の等式 $\int_0^a g(x) dx = \frac{a^3}{3} - 4a^2 + 6a - \frac{a}{3}$ (ただし、 a は実数) を満たす関数 $g(x)$ を考えよ。このとき、次の各問に答えよ。

(1) $y = f(x)$ のグラフと x 軸の異なる x 軸の交点を求めると、 \square 、 \square 、 \square である。ただし、 $\square = \square - \square$ 、 $\square = \square$ として答えよ。

(2) $g(a)$ と a の値を求めると、 $g(a) = \square a^2 - \square a + \square$ であり、 $a = \square$ である。

(3) 任意の実数 a に対して、 $-f(b + a) = f(b - a)$ を満たす b の値を求めると、 $b = \square$ である。

(4) $f(x)$ が極値をとるときの x の値を求めると、 $x = \square$ 、 $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。また、 $f(x) = f(a) + g(x)(x - \frac{-\square + \sqrt{\square}}{2})$ (ただし、 $g(x)$ は x の整式である。これを利用し) て $f(x)$ の極値を求めると、 $\frac{\sqrt{\square}}{\square}$ である。

(5) $f(x) - g(x)$ を因数分解すると、 $f(x) - g(x) = (x - \square)(x - \square)(x - \square)$ である。この結果より、 $1 \leq x \leq 3$ において、 $f(x) - g(x) \geq 0$ であることがある。ただし、 $\square = \square - \square$ 、 $\square = \square$ として答えよ。

(6) $1 \leq x \leq 3$ において、 $y = f(x)$ のグラフと $y = g(x)$ のグラフで囲まれる部分の面積を求めると、 $\frac{14}{3}$ である。

- 14 -

総合型選抜 I 期 <体験型> 総合型選抜 II 期 <面談型>	I 期 <体験型>				II 期 <面談型>			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
建築・環境デザイン学科	17	15	15	1.00	3	2	2	1.00
生産・工業デザイン学科	53	45	45	1.00	21	16	16	1.00
ビジュアルデザイン学科	54	48	48	1.00	24	22	21	1.05
メディア芸術学科	73	55	55	1.00	36	26	24	1.08

総合型選抜 III 期 / V 期 / VI 期 <作品持参型>	III 期				V 期				VI 期			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
建築・環境デザイン学科	4	4	4	1.00	2	2	2	1.00	2	1	1	1.00
生産・工業デザイン学科	4	3	3	1.00	4	3	3	1.00	1	0	0	-
ビジュアルデザイン学科	11	11	6	1.83	7	6	4	1.50	5	4	2	2.00
メディア芸術学科	37	36	28	1.29	26	22	9	2.44	9	7	3	2.33

総合型選抜 III 期 / V 期 / VI 期 <資格取得型>	III 期				V 期				VI 期			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
建築・環境デザイン学科	3	3	3	1.00	1	0	0	-	0	0	0	-
生産・工業デザイン学科	4	4	4	1.00	0	0	0	-	0	0	0	-
ビジュアルデザイン学科	6	6	6	1.00	0	0	0	-	0	0	0	-
メディア芸術学科	3	3	3	1.00	2	2	2	1.00	0	0	0	-

総合型選抜 IV 期 / 一般選抜 I 期 <科目選択型>	総合型選抜 IV 期				一般選抜 I 期			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
建築・環境デザイン学科	8	6	4	1.50	29	25	11	2.27
生産・工業デザイン学科	24	20	13	1.54	54	47	19	2.47
ビジュアルデザイン学科	28	22	7	3.14	67	59	24	2.46
メディア芸術学科	50	46	19	2.42	90	82	10	8.20

一般選抜 II 期 / III 期 <大学入学共通テスト利用型>	II 期				III 期			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
建築・環境デザイン学科	27	27	16	1.69	9	9	4	2.25
生産・工業デザイン学科	34	34	18	1.89	6	6	2	3.00
ビジュアルデザイン学科	40	40	25	1.60	9	9	5	1.80
メディア芸術学科	36	36	3	12.00	13	13	2	6.50

留学生選抜 I 期 / II 期	I 期				II 期			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
建築・環境デザイン学科	6	6	4	1.50	5	0	0	-
生産・工業デザイン学科	16	14	13	1.08	12	4	4	1.00
ビジュアルデザイン学科	12	10	9	1.11	14	8	5	1.60
メディア芸術学科	67	51	19	2.68	49	29	10	2.90

編・転入学選抜 I 期 / II 期	I 期				II 期			
	志願者	受験者	合格者	倍率	志願者	受験者	合格者	倍率
環境デザイン学科	5	5	5	1.00	0	0	0	-
プロダクト・インテリアデザイン学科	7	6	6	1.00	0	0	0	-
ビジュアルデザイン学科	2	2	0	-	3	3	1	3.00
デジタルクリエイションコース	0	0	0	-	0	0	0	-
映像表現学科 映画コース	0	0	0	-	1	0	0	-
アニメーションコース	1	1	0	-	1	0	0	-
まんが表現学科	2	1	1	1.00	3	3	0	-
ファッションデザイン学科	0	0	0	-	0	0	0	-
アート・クラフト学科	1	0	0	-	2	1	1	1.00

